

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ()その他		
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ①学校、家庭、地域の連携(GUTS日吉津っ子の育成)	実施期間	継続	団体等	村内各種団体組織と連携

平成28年度実施計画

目的	学校・家庭・地域が連携を図りながら、各種事業のネットワーク化、学習内容や手段の充実、図書活動の活性化、学習情報の提供に努め、学習条件の整備と推進体制の強化を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域が連携した学習プログラムの実践 学校・家庭・地域が連携したネットワークづくり 学校・家庭・地域での情報共有
----	---	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	GUTS日吉津っ子育成事業	
		学社(学校教育・社会教育)連携、融合による子育てプログラム「GUTS日吉津っ子」の実践 ・育成推奨事業(カルチャー土曜塾、子どもの日まつりなど)を実践 ・特定の課題に焦点化した取組み(ふるさと教育)の実施 ・読書活動の推進 ・各団体等との連携の強化	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報償費、備品購入費等	630	県支出金 405 一般財源 225
(平成28年度)	予算	報償費、備品購入費等	914	県支出金 480 一般財源 434
(平成29年度)	計画	報償費、備品購入費等	914	県支出金 480 一般財源 434
(平成30年度)	計画	報償費、備品購入費等	914	県支出金 480 一般財源 434

その他意見等

--

第6次総合計画実施計画(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾・土井)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		(○)村直営 ()団体 (○)その他	
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ②読書推進活動と公共図書館サービスの充実	実施期間	H17~継続・H26	団体等	鳥取県立図書館

平成28年度実施計画

目的	<p>ウイレスティえづのメリットを最大限に活かし、図書館サービスを展開し、村民の多様な知的欲求を満たし、学習の楽しさや意欲を高める。図書館のソフト面を整備し、利用の拡充を図る。</p>	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館機能の整備と充実 ・横断検索・WEB予約の運用 ・村民の利用登録人口あたり40%達成(1,400名) ・村民1人当たりの貸出数11冊/年(総貸出数39,270冊/年)
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	図書館管理運営事業
		<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書の収集と整備(H29年度に蔵書30,000冊達成予定) ・特色ある展示コーナーづくり(シニア・子育て・中高生など利用層に応じたコーナー設置) ・公民館機能・健康相談健診機能との事業連携(関連図書展示・健診時の出前図書コーナー設置) ・小学校・保育所など関係機関との共催事業(読書推進イベントの共催・テーマ学習用図書貸出) ・図書館の情報を村報・村HP・113チャンネル・図書館通信などで広報し、広く村民の利用促進を図る ・職員の資質向上(読み聞かせ・資料相談研修など実務者研修) ・ボランティアとの協働(ボランティア研修会・おはなし会などのイベント企画)と図書整理ボランティアなどの発掘

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	備品購入費、委託料、使用料等	14,934	県支出金 3,542 一般財源 11,392
(平成28年度)	予算	備品購入費、委託料、使用料等	16,384	県支出金 2,611 一般財源 13,773
(平成29年度)	計画	備品購入費、委託料、使用料等	15,000	県支出金 1,200 一般財源 13,800
(平成30年度)	計画	備品購入費、委託料、使用料等	15,000	県支出金 1,200 一般財源 13,800

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		(○)村直営 (○)団体 ()その他	
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ③生涯学習活動の推進	実施期間		H14～ 継続	ふれあいフェスタ 実行委員会
				団体等		

平成28年度実施計画

目的	文化活動の発表や、健康づくり、福祉活動など多様なテーマが盛り込まれ、村内外の交流の場となっているふれあいフェスタを充実させる。本村の生涯学習活動について報告しあい、新しい学習課題や今後の方向性について認識を深め、それぞれの実践力を高める場として生涯学習のむらづくりを開催する。	到達目標	◇ふれあいフェスタ(文化の部) ・村民一般の出展の増加 ・村内外の入場者の増加 ◇生涯学習のむらづくり ・村内の実践者の発掘 ・村民個々の実践に向けてのきっかけとなる場を提供
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	各種大会
	◇生涯学習のむらづくり ・生涯学習むらづくり推進大会・・・村内の様々な活動等の実践事例の発表や紹介、講演などを通じて、時代に即した学習課題の再確認及び課題クリアのためのアドバイスを受け、今後の活動に役立てる。 ・ヴィレステひえづを中心とした生涯学習体制の推進 ◇ふれあいフェスタ(文化の部) ・10月31日、11月1日(2日間開催) ・会場・・・ヴィレステひえづ ・作品展示(グループ・小学校・保育所・自治会婦人部等各種団体・村内の事業所・村民一般) ・体験コーナー設置(囲碁グループ)	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報償費、役務費	26	一般財源 26
(平成28年度)	予算	報償費、役務費	35	一般財源 35
(平成29年度)	計画	報償費、役務費	35	一般財源 35
(平成30年度)	計画	報償費、役務費	35	一般財源 35

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		()村直営 (○)団体 ()その他	
1. 生涯学習の村づくり	施策	(P25) ③生涯学習活動の推進	実施期間		新規	団体等

平成28年度実施計画

目的	日吉津村に暮らし、日吉津村で学び働く村民誰もが日吉津村の歴史や風俗を知り、郷土に対する愛着を持てるようにする。	到達目標	日吉津村デジタルアーカイブの作成。 日吉津村誌のデータ化。 日吉津村行政資料のデータ化。
----	---	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	郷土のデータベース化事業
	◇行政が作成した資料を収集・保存。 ◇郷土資料のデータ化について調査・研究。(先進地視察) ◇日吉津村の歴史や未来に伝えたい伝統・風習など記録が必要なものについて、聞き取りしたものを音声データや画像データとして保存。 ◇近隣自治体のアーカイブ事業を視察村制130年(平成31年度)完成にむけて資料収集計画作成。	

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	
(平成28年度)	予算	備品購入費 140	一般財源140千円
(平成29年度)	計画	備品購入費・委託料・借上料 200	一般財源200千円
(平成30年度)	計画	備品購入費・委託料・印刷製本費 300	一般財源300千円

その他意見等

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 学校教育の振興 1) 就学前教育	施策	(P26) ①保小連携など、教育機関相互の連携	実施期間	継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	人間形成の基礎を培う乳幼児から児童期少年期に至る保育・教育機関の連携をはかり、見通しを持った家庭教育・学校教育の充実を図る。	到達目標	小学校・保育所・児童館・子育て支援センターで構成する日吉津村教育協議会の活動の活性化と教育機関の連携強化。就学前の家庭教育と幼児期の教育、学校教育との連携と充実。村内保育施設との連携の仕組みを作り、村の就学前教育の質の均等化、向上を図る。
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	事務局運営事業
	<ul style="list-style-type: none"> ◇日吉津村教育協議会の各部会ごとの活動充実 ◇保小連絡会の開催 ◇保小合同研修会の開催 ◇保保合同研修の開催 ◇小学校教員と保育士の授業交流 ◇村就学指導委員会の開催 ◇発達障がい理解のためのリーフレットの活用と理解啓発 ◇子ども読書推進計画の推進 ◇日吉津村教育基本計画の策定 ◇親育ちのための研修会の開催 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		-	
(平成28年度) 予算		-	
(平成29年度) 計画		-	
(平成30年度) 計画		-	

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 学校教育の振興 1) 就学前教育	施策	(P26) ②家庭教育・子育て支援の推進	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	乳幼児期に家庭で身に付けなければならない生活習慣の定着等家庭の教育力の向上を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への情報発信による子育て観の確立 ・基本的生活習慣の改善と生活習慣づくり
----	---	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	事務局運営事業
	<ul style="list-style-type: none"> ◇家庭教育の重要性の発信 とっとり子育て親育ちプログラムの保育所保護者実施 ◇研修会の開催 新1年保護者対象に研修会を実施 ◇就学前の保護者研修 ◇家族ふれあい読書の推進に係る研修や講演会の実施 ◇家庭と連携を図った基本的生活習慣の定着や強化週間の設定 ◇村立図書館を活用した読書推進(I-2関連) ◇第3子以降私立幼稚園就園費無償化事業 ◇私立幼稚園就園奨励費補助事業 ◇県教育機関を利用した研修の充実(保育の質の向上) ◇PDCAサイクルに沿った園評価の実施と公表 ◇保護者の子育て相談体制の整備 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	賃金、報償費、委託料、その他補助金	286	国庫補助金 20 一般財源 266
(平成28年度)	予算	賃金、報償費、委託料、その他補助金	286	国庫補助金 20 一般財源 266
(平成29年度)	計画	賃金、報償費、委託料、その他補助金	286	国庫補助金 20 一般財源 266
(平成30年度)	計画	賃金、報償費、委託料、その他補助金	286	国庫補助金 20 一般財源 266

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 学校教育の振興 2) 義務教育 (1) 小学校教育	施策 (P27) ① 活力ある学校づくり	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	活力ある学校づくりを目指し、人を愛する広い心、創造性豊かな児童に育てる教育内容の充実に努め「自ら学び自ら考え進んで表現する子どもの育成」を目指し取り組む。	到達目標	子どもたちに、直接指導を行うことにより、教師の支援、指導以上の体験的学習となる。この体験を通し、地域の方との交流や地域との結びつきを豊かにする。
----	---	------	--

事業名	事務局運営費、小学校管理費、小学校教育振興、プール管理費		
事業内容 (具体的な施策)	<p>◇農産物生産体験事業・・・社会科や総合的な学習のなかで、地域の生産者をゲストティーチャーとして迎え、大豆づくり、白ねぎづくりを年間を通じて体験する学習を進める。収穫祭をゲストティーチャーとともにに行い、収穫の喜びと感謝の気持ちを育てる。</p> <p>◇老人クラブとの交流事業・・・サツマイモづくりを通じて高齢者との交流を図る。収穫祭をともにに行い、収穫の喜びと感謝の気持ちを育てる。年間を通じて、学校敷地内の除草作業を通じた交流を行う。</p> <p>◇クラブ活動で、囲碁・将棋・茶道・ヨガ等を教わる。</p> <p>◇小学校校庭芝生維持管理事業・・・芝生化による運動促進、体力の向上、多様な遊戯活動が出来ている。ボランティアの維持管理活動を通して学校、家庭、地域の連帯強化と拠点づくりを行っている。</p> <p>◇人材育成交流事業・・・沖縄読谷村の伝統文化の体験や人々の交流及び平和学習を通し、①郷土に生きる自覚を促すとともに友情と連携の精神を養い、②郷土の文化や歴史に気づき、自ら次代を担う村民の一員としての自覚を促すとともに自立の精神を養う。</p> <p>◇水泳特別指導事業・・・「卒業までに100m以上泳げるようになる」を目標に夏季休業中に、水泳専門員による指導を行う。全児童に具体的な目標を持たせることにより、自信や達成感を与え、日吉津小学校の卒業生としての誇りを持たせる。</p>		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 賃金、消耗品、燃料費、旅費、補助金等	1,347	一般財源 1,347
(平成28年度)	予算 賃金、消耗品、燃料費、旅費、補助金等	1,891	一般財源 1,891
(平成29年度)	計画 賃金、消耗品、燃料費、旅費、補助金等	1,891	一般財源 1,891
(平成30年度)	計画 賃金、消耗品、燃料費、旅費、補助金等	1,891	一般財源 1,891

その他意見等	
--------	--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 学校教育の振興 2) 義務教育 (1) 小学校教育	施策 (P27) ①活力ある学校づくり	実施期間	新規	団体等	

平成28年度実施計画

目的	体力テストの結果、学校の平均が県平均以下であった。児童全員の体力向上を目指すため、外部指導者により基礎運動・陸上の指導を行う。理論や実践に基づいた具体的な指導を受けることで、子どもの運動技能や教員の指導力向上を図る。	到達目標	子どもの運動技能や教員の指導力向上
事業内容 (具体的な施策)	事業名	小学生体力向上事業	
	◇県平均以下の測定項目とその要因についての対策 ◇保育所と連携した、基礎体力作り		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	
(平成28年度)	予算 賃金	800	一般財源 800
(平成29年度)	計画 賃金	1,000	一般財源 1,000
(平成30年度)	計画 賃金	1,000	一般財源 1,000

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27)	実施期間	継続	団体等	
		②社会に適應できる子どもの育成				

平成28年度実施計画

目的	社会に適應する力を育てるため、パソコンやケーブルテレビなどを活用した情報化、外国人との交流など国際化を取り入れた教育を推進する。	到達目標	・総合的な学習のなかで、調べ学習の実践が求められているため、情報化を推進する。 ・外国語活動の充実を図る。
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	小学校管理運営、小学校教育振興
		◇パソコンやインターネットを活用した学習の推進 ◇外国語指導助手(ALT)による外国語活動の実施(5・6年生における英語学習、4年生以下における国際理解学習として実施) ◇情報通信技術(ICT)の利用・活用教育のための、機器整備(H27～H29 プロジェクター、実物投映機、マグネットスクリーン等)

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	委託料、使用料、備品購入費等	2,620	繰入金 600 一般財源 2,020
(平成28年度)	予算	委託料、使用料、備品購入費等	2,817	繰入金 590 一般財源 2,227
(平成29年度)	計画	委託料、使用料、備品購入費等	2,108	繰入金 230 一般財源 1,878
(平成30年度)	計画	委託料、使用料、備品購入費等	1,636	一般財源 1,636

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27)	実施期間	継続	団体等	
		③特別支援教育の充実				

平成28年度実施計画

目的	一人一人の可能性を広げ、個性や能力を伸ばし、ともに支え合い成長していく態度を育てる。	到達目標	・障がいの程度に応じた教育や支援体制の強化。
----	--	------	------------------------

事業名	小学校管理費、小学校教育振興費		
事業内容 (具体的な施策)	◇特別支援学級の開設 ・保護者の合意形成のもとに児童の障がいの状況に応じた特別支援学級の設置を行う。 病弱学級へ看護支援員の配置。(H27 病弱学級新設) ・毎月LD(学習障がい)等専門員の訪問をうけ、児童の状況を職員で把握し、対応を図る。また、就学相談については校内で特別支援教育コーディネーターを配置し、担任と保護者や特別支援学校や医療機関など校外の関係機関につなぐ。 ・近隣の特別支援学校と担任が連携を図り、障がいに応じた専門的な教育を充実させる。 ・特別支援学級以外の困り感を持つ子どもたちについては、特別支援学校との通級指導教室を利用するなど具体的に個に応じた対応を行う。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	賃金、負担金、借上料、扶助費	1,420	一般財源 1,420
(平成28年度)	予算	賃金、負担金、借上料、扶助費	4,174	国庫支出金 2,240 一般財源 1,934
(平成29年度)	計画	賃金、負担金、借上料、扶助費	4,204	国庫支出金 2,240 一般財源 1,964
(平成30年度)	計画	賃金、負担金、借上料、扶助費	4,204	国庫支出金 2,240 一般財源 1,964

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27)	実施期間	継続	団体等	
		④開かれた学校教育の実践				

平成28年度実施計画

目的	地域ぐるみで児童を育てる機運を高めるため、より一層開かれた学校教育を実践する。	到達目標	地域の学校教育に対する理解を深め、更に子どもたちが自分のくらす身近な地域から学ぶことによって地域への理解を深める。

事業内容 (具体的な施策)	事業名	小学校教育振興
	◇クラブ活動や総合学習へのゲストティーチャー招聘 ・PTA活動、地域子ども会、自治会、各種団体との連携を図るとともに、地域の教育力を活用し、地域の伝統や文化を伝え、「生きる力」を育む。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		-	
(平成28年度) 予算		-	
(平成29年度) 計画		-	
(平成30年度) 計画		-	

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (1)小学校教育	施策	(P27) ⑤教職員の資質の向上	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	直接児童の指導にあたる教職員の質的向上を目指し、学校教育の充実を図る。	到達目標	・教育の質的向上を図るため、教職員の資質や指導力の向上に努める。
----	-------------------------------------	------	----------------------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	小学校教育振興
	◇講師を招いて、授業方法の研修を行う。 ◇特別授業研究講師を招いて、「学びの共同体」の推進を図る。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	報償費	165	一般財源 165
(平成28年度) 予算	報償費	220	一般財源 220
(平成29年度) 計画	報償費	220	一般財源 220
(平成30年度) 計画	報償費	220	一般財源 220

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 (○)その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (2)中学校教育	施策	(P28) ①教育機能の整備	実施期間	継続	団体等	中学校組合

平成28年度実施計画

目的	教育環境・教育機能の更なる充実を目指す。	到達目標	・施設の適正な維持管理。。
	事業名		中学校管理
事業内容	(具体的な施策) ◇教育施設の充実 ・プールろ過機改修事業 ・保健室給水設備事業 ・通信回線光回線化及びビジネスフォン導入事業 ・バスケットゴール安全点検事業		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	負担金	8,789	一般財源 8,789
(平成28年度)	予算	負担金	10,683	一般財源 10,683
(平成29年度)	計画	負担金	9,754	一般財源 9,754
(平成30年度)	計画	負担金	9,754	一般財源 9,754

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 (○)その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (2)中学校教育	施策	(P28)	実施期間	継続	団体等	中学校組合
		②社会教育分野の取り組み				

平成28年度実施計画

目的	お互いに相手の立場を思いやる豊かな心を育む環境づくりを行う。	到達目標	積極的に地域との関わりを持ち、社会性を身につける。

事業内容 (具体的な施策)	事業名	事務局運営事業
	◇地域でのイベント等への参加 ・村民運動会のスタッフとして楽しみながら参加。 ・村民運動会や盆踊り大会のスタッフとして参加することによって、運営に参加する楽しみや充実感を感じながら協働する。 ・育った地域へ貢献する活動や村行事の運営に参加することで地域行事に親しみを持ち、自尊感情を高め、幅広く地域の人とふれあう。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		-	
(平成28年度) 予算		-	
(平成29年度) 計画		-	
(平成30年度) 計画		-	

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	()村直営 (○)団体 (○)その他		
2. 学校教育の振興 2)義務教育 (2)中学校教育	施策	(P28) ③関係組織の連携強化	実施期間	継続	団体等	中学校組合、PTA等

平成28年度実施計画

目的	いじめ、不登校、非行問題等早急に解決しなければならない課題への対応を進める。	到達目標	・関係組織の強化を図る。
事業内容	事業名	事務局運営事業	
(具体的な施策)	◇箕敷屋中校区地域安全協議会による、児童・生徒の下校時を中心とした、青色回転灯車によるパトロールの実施。 ◇青少年育成日吉津村民会議による、夏休み期間を中心とした、村ミニパトによる村内夜間パトロールの実施。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	
(平成28年度)	予算	-	
(平成29年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ①学習機会、内容の拡充・支援	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	質、量ともに多様化・高度化した各々の生活課題や学習要求に応えていくために、誰もがいつでも、個々に合った方法で参加できるよう、学習機会等の拡充に努める。個々の学習相談も受け、多様な学習要求への支援も行う。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィレステひえづ・子育て支援センター・自治会・子ども会等と連携を図りながら実施。 ・社会的課題にあった講座や講演会等の開催 ・村内の実践者の発掘 ・村民個々の実践に向けてのきっかけとなる場を提供 ・若年層、中高生を中心とした地域活動及び女性の活動等の推進
----	---	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	社会教育事業一般
		<ul style="list-style-type: none"> ◇生涯各期における学習課題に対応する学習機会、情報の提供及び内容の拡充 ・家庭教育講座・・・子育て中の親を対象に親育ちの講座 ・子どもの日まつり・・・村子連等社会教育関係団体連携して実施 ・成人式・・・1月3日実施 ふるさと日吉津を感じるような運営 ・ふれあいフェスタ(イベントの部) ・生涯学習むらづくり推進大会・・・村内の様々な活動等の実践事例の発表や紹介、講演などを通じて、時代に即した学習課題の再確認及び課題クリアのためのアドバイスを受け、今後の活動に役立てる。 ・青年教育・・・若年層のヴィレステひえづの利用促進、仲間づくり

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報償費、負担金補助及び交付金等	719	県支出金 170 一般財源 549
(平成28年度)	予算	報償費、負担金補助および交付金等	1,092	県支出金 175 一般財源 917
(平成29年度)	計画	報償費、負担金補助および交付金等	1,092	県支出金 175 一般財源 917
(平成30年度)	計画	報償費、負担金補助および交付金等	1,092	県支出金 175 一般財源 917

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	(○)村直営 (○)団体 ()その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ①学習機会、内容の拡充・支援	実施期間	新規	団体等

平成28年度実施計画

目的	村内在住人口増の一助とするため、奨学金を受けている方が、大学等を卒業後に日吉津村に戻り、地元就職し、村から通勤する場合に奨学金相当額を助成する。「鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金」受給者の場合は、残額を助成する。	到達目標	村内在住人口増
----	---	------	---------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	地元人材育成奨学金支援事業
	◇日吉津村に戻り、地元就職し、村から通勤する場合に奨学金相当額を助成する。 負担金補助及び交付金(下記人数を想定) 大学(返還開始) 1人×150千円=150千円 大学(返還中) 10人×1/3=3人×150千円=450千円 高校(返還開始) 1人×48千円 高校(返還中) 0人	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	
(平成28年度)	予算 負担金、補助及び交付金	648	一般財源 648
(平成29年度)	計画 負担金、補助及び交付金	1,008	一般財源 1,008
(平成30年度)	計画 負担金、補助及び交付金	1,488	一般財源 1,488

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ②各種団体・グループの育成と指導者養成	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	これまでの実践を活かし、さらに家庭・学校・地域が連携しながら学習できるよう、団体・指導者の育成、人づくりを進める。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成村民会議の活性化。 ・村子ども会育成連絡協議会の自主的な運営。 ・指導者の育成。
----	---	------	--

事業名	青少年育成	
事業内容 (具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ◇青少年育成村民会議の育成援助 村内関係者が網羅的な連携 実行委員での事業運営 ◇村子ども会育成連絡協議会の指導支援 子ども会育成連絡協議会の主催事業の主体的な実施 各自治会子ども会の連携 ◇青少年育成推進指導員の充実 指導員を選出し、現在5人の指導員を7人にし、活動の充実を図る。 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	負担金補助及び交付金等	531	一般財源 531
(平成28年度) 予算	負担金補助及び交付金等	585	一般財源 585
(平成29年度) 計画	負担金補助及び交付金等	585	一般財源 585
(平成30年度) 計画	負担金補助及び交付金等	585	一般財源 585

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		()村直営 (○)団体 ()その他	
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29)	実施期間	新規	団体等	
		②各種団体・グループの育成と指導者養成				

平成28年度実施計画

目的	未来を担う中高生を対象にヴィンステひえづを主会場に村内で活動する機会を提供し、青少年が地域とつながり世代を超えて交流することで、日吉津村に愛着を持ち活躍できる人づくりを目指す。	到達目標	中・高校生自主サークルの発足
----	--	------	----------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	中・高校生自主サークル活動支援事業
	◇ワークショップ開催(年6回)し、中・高校生の関心が集まるように図る。 ◇リーダー育成を目的とした先進地を、事務局と中・高校生が村マイクロバスで視察する。 ◇自主サークルの発足。 ◇中高生への広報…村内在住の中・高校生に対するPR活動。 ◇サークル主催のイベント開催(既存のイベントへの参加の他に、サークル主催でワークショップ等を開催する。	

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績		—	
(平成28年度)	予算	報償費、消耗品費	90	一般財源 90
(平成29年度)	計画	報償費、消耗品費	90	一般財源 90
(平成30年度)	計画	報償費、消耗品費	90	一般財源 90

その他意見等				

第6次総合計画実施計画(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(山口、増本、土井、古志)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう		実施主体	()村直営 (○)団体 ()その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ②各種団体・グループの育成と指導者養成	実施期間	新規	団体等

平成28年度実施計画

目的	趣味や特技、また職業で得た特色ある技術を持つ村民をゲストティーチャーとして登録しヴィンステひえづが行うさまざまな事業で講師として活動していただくことでヴィンステひえづの魅力ある事業を開催する。	到達目標	ゲストティーチャーの発掘
----	--	------	--------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	ゲストティーチャー登録事業
	◇ゲストティーチャーを取り入れている公民館・公共施設の担当者や、ゲストティーチャーを講師として講習会等を開催(講習会2回・研修会1回) ◇村民に向けたゲストティーチャー募集・広報	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	
(平成28年度)	予算 報償費、消耗品費	60	一般財源 60
(平成29年度)	計画 報償費、消耗品費	60	一般財源 60
(平成30年度)	計画 報償費、消耗品費	60	一般財源 60

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	()村直営 (○)団体 (○)その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ③各種イベントの開催	実施期間	継続	団体等	盆踊り実行委員会 芸能大会実行委員会

平成28年度実施計画

目的	<p>新しい住民の増えつつある中で、村内の老若男女が一堂に会し、夏の風物詩である盆踊りを村民手作りにより開催し新旧住民や、世代を超えて地域の連帯感を強めていく。 グループ活動発表の場と一般村民の芸能発表と鑑賞の場を提供し、村民の方に多く来てもらうことで、ふれあい交流の場をつくる。</p>	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・多数の盆踊り参加による支援の促進 ・夏のイベント(ふるさと夏祭り)としての定着化 ・どの年代でも楽しめる大会 ・発表を通じて、グループ活動の周知と新メンバーの開拓
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	各種大会
	<p>◇盆踊り花火大会の開催(8月16日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、各種団体、ボランティア、一般公募で実行委員会を組織し、運営 ・小学校グラウンドを会場とし、櫓、提灯の設置や商工会、一般の屋台出店の設置 ・広く協賛者を募り、大抽選会と花火打ち上げの実施 ・小学校の協力を得て盆踊り練習会の開催(日吉津音頭) <p>◇芸能大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ、自治会、各種団体、ボランティア、一般公募の有志、ヴァレステひえづ運営審議会コミュニティセンター部門委員で実行委員会を組織し、運営 ・概ね3月の第2日曜日の開催 ・出演者の募集(一般公募含む) 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報償費、役務費、借上料	62	一般財源 62
(平成28年度)	予算	報償費、役務費、借上料	80	一般財源 80
(平成29年度)	計画	報償費、役務費、借上料	80	一般財源 80
(平成30年度)	計画	報償費、役務費、借上料	80	一般財源 80

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	()村直営 (○)団体 ()その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ③各種イベントの開催	実施期間	新規	団体等	

平成28年度実施計画

目的	あらゆる年代にヴィレステひえづを中心に活動する機会を提供するため、ボランティアの募集を行う。また、活動のアドバイスをいただくため外部講師を呼び講演を実施する。	到達目標	ヴィレステひえづが地方創生の中心を担う。
----	---	------	----------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	ヴィレステひえづ拠点事業
		◇ボランティア募集 ヴィレステひえづ拠点事業の計画やニーズ調査等に携わっていただく、ボランティアを募集する ◇講演会の開催 ヴィレステひえづを有効活用する方法を講師からアドバイスをいただく。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	
(平成28年度)	予算 報償費、消耗品費、印刷製本費	250	一般財源 250
(平成29年度)	計画 報償費、消耗品費、印刷製本費	250	一般財源 250
(平成30年度)	計画 報償費、消耗品費、印刷製本費	250	一般財源 250

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体		()村直営 (○)団体 ()その他	
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29)	実施期間	新規	団体等	
		④各種イベントの開催 (グループ育成事業)				

平成28年度実施計画

目的	ヴィレステひえづを多くの方にご利用いただくように、施設をPRし、ヴィレステひえづで活動を展開するグループ育成につなげる。さまざまなグループ活動を通して、村民にヴィレステひえづを利用する機会を提供する	到達目標	新規グループの発足
----	---	------	-----------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	グループ育成事業
	◇外部講師による体験会開催(年3回) ◇グループ作品展による発表の場づくり(ふれあいフェスタ・個人・団体による作品展) ◇ヴィレステひえづの利用促進PR・ホームページの充実(グループ活動ページ作成)	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績		—	
(平成28年度)	予算	報償費、消耗品費	40	一般財源 40
(平成29年度)	計画	報償費、消耗品費	40	一般財源 40
(平成30年度)	計画	報償費、消耗品費	40	一般財源 40

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
3. 社会教育とコミュニティ活動	施策	(P29) ⑤民俗資料館の管理運営と地域文化振興	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	本村の生活文化や歴史を保存展示している民俗資料館を村民のアイデンティティやふるさと意識を育てる拠点として活用を広げる。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 民俗資料館の活用 指定文化財の適正な管理
----	---	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	文化財保護事業・資料館管理運営
	(文化財保護事業) ◇民俗資料館の活用 郷土を中心とする民俗文化財を収集・保管し、適宜展示公開する ・秋のふれあいフェスタに併せ特別展の開催 ・ヴィンステひえづでの出張展示 ・いつでも誰でも入館できる開放日の設定	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	委託料等	1,469	県支出金 34 一般財源 1,435
(平成28年度)	予算	委託料等	709	県支出金 34 一般財源 675
(平成29年度)	計画	委託料等	709	県支出金 34 一般財源 675
(平成30年度)	計画	委託料等	709	県支出金 34 一般財源 675

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	()村直営 (○)団体 (○)その他		
4. 社会体育の振興 1)スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P29) ①村民総スポーツの推進	実施期間	継続	団体等	チューリップマラソン・12hソフトバレー実行委員会

平成28年度実施計画

目的	スポーツを楽しむ機会の少ない青壮年層を中心に、村民相互の親睦を図り、明るく豊かで健康な村づくりに貢献するとともに、マラソン大会やニュースポーツ大会の開催等を通じて、地域の活性化と健康増進・体力づくりの意識の高揚を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップマラソンの開催(目標・参加者2,300人) ・12時間ソフトバレーボール大会の開催 ・ニュースポーツ教室の開催(種目等は検討)
----	---	------	--

事業名	社会体育一般
事業内容 (具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ○日吉津独自の大会の開催で多数の参加者を募り、生涯スポーツの推進に役立てる ◇第38回チューリップマラソンの開催(4月10日:日野川河川敷運動公園) <ul style="list-style-type: none"> ・村の一大イベントとして定着 ◇第15回記念大会熱血12時間ソフトバレーボール大会の開催(6月4日:農業者トレーニングセンター) <ul style="list-style-type: none"> ・ユニークな大会として認知 ◇ニュースポーツオープン大会の開催(11月頃) <ul style="list-style-type: none"> ・誰でも気軽に参加できるスポーツに親しみ、体力づくりに役立てる ◇ニュースポーツ教室の開催(年5回程度) <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員を中心に、ニュースポーツの教室を実施する

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	賃金・補助金	1,595	県支出金 360 一般財源 1,235
(平成28年度)	予算	賃金・補助金	1,599	県支出金 360 一般財源 1,239
(平成29年度)	計画	賃金・補助金	1,599	県支出金 360 一般財源 1,239
(平成30年度)	計画	賃金・補助金	1,599	県支出金 360 一般財源 1,239

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	()村直営 (○)団体 ()その他		
4. 社会体育の振興 1)スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ②各種大会の開催	実施期間	継続	団体等	村体育協会、村民運動会実行委員会

平成28年度実施計画

目的	球技大会や村民運動会を開催することにより、地域住民の交流や親睦を図る場を提供すること、及び、日頃スポーツに親しむ機会の少ない青壮年層へスポーツをする機会を提供し、村民の健康増進及び体力の向上を目的とする。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・村民運動会の開催(年1回) ・村民球技大会の開催(年3回・6種目)
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	社会体育一般
	<ul style="list-style-type: none"> ◇村民運動会の開催(10月9日開催予定) <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を開催し、競技種目の見直し・大会運営等について検討する ◇村民球技大会の開催(7月・9月・3月に開催) <ul style="list-style-type: none"> (ソフトボール、ペタンク、ソフトバレー、グラウンドゴルフ、バドミントン、卓球を予定) ・自治会対抗方式 ・自治会ごとに練習や大会を通じて、交流、親睦を図りつつ、健康づくり、体力づくりに役立てる ・参加者の少ない種目の見直しを検討する 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	補助金	676	一般財源 676
(平成28年度)	予算	補助金	515	一般財源 515
(平成29年度)	計画	補助金	770	一般財源 770
(平成30年度)	計画	補助金	770	一般財源 770

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	()村直営 (○)団体 (○)その他		
4. 社会体育の振興 1) スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ③少年スポーツの健全育成	実施期間	継続	団体等	教育委員会 スポーツ少年団

平成28年度実施計画

目的	スポーツを通じて、健康でたくましい心と体をつくるとともに、生涯にわたって運動に親しみ、スポーツ活動を続けていける基礎を養うことを目的とする。また、スポーツ少年団活動を通じ、体力向上のみならず、精神的な成長を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じたスポーツ活動の継続。 奉仕活動の実施。 スポーツ少年団への加入者の増加
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	社会体育一般
	◇スポーツ少年団活動(野球、サッカー、ミニバスケットボール、空手、バドミントン) ・指導者総勢16名(野球6名、サッカー3名、ミニバス2名、空手1名、バドミントン4名) ・113chにCMを放送し、加入推進を図る ・海岸クリーン作戦への参加や、各種大会等への参加 ・体験入部等を実施し、スポーツ少年団への部員の加入促進を図る	

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 補助金	518	一般財源 518
(平成28年度)	予算 補助金	727	一般財源 727
(平成29年度)	計画 補助金	519	一般財源 519
(平成30年度)	計画 補助金	519	一般財源 519

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ()その他		
4. 社会体育の振興 1)スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ④指導者の確保・育成	実施期間	継続	団体等	教育委員会、スポーツ推進委員、スポ少本部

平成28年度実施計画

目的	各種団体やサークル活動をリードする指導者の確保・育成に努め、活動の活性化につなげる。	到達目標	・スポーツ少年団育成指導員の資格取得者を増やす。 ・県、郡で開催されるスポーツ推進委員の研修会に参加する
	事業名		社会体育一般
事業内容 (具体的な施策)	◇研修会の開催 ◇郡、西部地区、県、中国ブロック主催の各種研修会への参加 ◇指導者連絡会の開催により、指導者間の連携を図り、指導者の研鑽を深める		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	費用弁償	91	一般財源 91
(平成28年度)	予算	費用弁償	138	一般財源 138
(平成29年度)	計画	費用弁償	58	一般財源 58
(平成30年度)	計画	費用弁償	58	一般財源 58

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
4. 社会体育の振興 1)スポーツ・レクリエーション活動と施設整備	施策	(P30) ⑤施設の適正管理と有効利用	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	既存施設の適正管理と有効利用の促進を図る。施設利用者が運営、管理に関わるような体制づくりについても検討していく。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校体育館の適正管理と有効利用 ・その他の体育施設の有効活用
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	社会体育一般
	◇スポーツ推進審議会の開催により、利用について検討する ◇必要に応じて体育施設利用団体連絡会を開催する	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報酬	9	一般財源 9
(平成28年度)	予算	報酬	36	一般財源 36
(平成29年度)	計画	報酬	36	一般財源 36
(平成30年度)	計画	報酬	36	一般財源 36

その他意見等

--

第6次総合計画実施計画(H28)

担当課(教育委員会) 担当者(松尾)

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
5. 人権尊重・同和問題への取り組み	施策	(P30) ①「あらゆる差別をなくす総合計画」の策定	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	審議会を開催し、同和問題を中心とした人権行政の基本方針を定める「日吉津村あらゆる差別をなくす総合計画」を策定する。	到達目標	・施策の推進に努めるとともに、鳥取県の意識調査の結果を踏まえ、村民の啓発に努める。
----	---	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	人権・同和教育
	◇「日吉津村あらゆる差別をなくす総合計画(仮称)」の策定 ・規則の制定 ・審議会の設置 ・計画の審議 ・計画策定 ・施策の実行	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	報酬	0	
(平成28年度) 予算	報酬	48	一般財源 48
(平成29年度) 計画	報酬	48	一般財源 48
(平成30年度) 計画	報酬	48	一般財源 48

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
5. 人権尊重・同和問題への取り組み	施策	(P31)	実施期間	継続	団体等	
		②人権・同和教育研修の充実				

平成28年度実施計画

目的	差別と偏見のない人権が尊重される社会の実現を目指し、保育・学校教育との連携、企業・事業所での研修、行政関係職員の研修の充実を図る。	到達目標	・研修会や講座の開催など各機関、団体において積極的な啓発活動を展開する。 ・小地域懇談会への行政職員の参加。

事業内容 (具体的な施策)	事業名	人権・同和教育
	(人権・同和教育) ・人権・同和教育推進協議会と連携を図りながら啓発活動に取り組む ◇村人権・同和教育研究集会の開催 ・講演、パネルディスカッション、意見発表 ◇チューリップセミナー(人権・同和教育講座)の開催 ◇小地域懇談会の実施 ◇行政関係職員研修の実施 ◇小学校PTA人権・同和教育部の活動支援	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報償費等	234	一般財源 234
(平成28年度)	予算	報償費等	324	県支出金 15 一般財源 309
(平成29年度)	計画	報償費等	324	県支出金 15 一般財源 309
(平成30年度)	計画	報償費等	324	県支出金 15 一般財源 309

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ()その他		
5. 人権尊重・同和問題への取り組み	施策	(P31) ③村人権・同和教育推進協議会の活動推進	実施期間	継続	団体等	村人権・同和教育推進協議会

平成28年度実施計画

目的	全村民が同和問題について正しい認識と理解を深め、不合理な差別意識をなくすることを目的とし、その中核を担う「村同和教育推進協議会」の活動推進に努める。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の養成。 ・全自治会で小地域懇談会を開催し、その目的、必要性を浸透させる。 ・各部会の連携を強化し、部会以外の事業への積極的参加
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	人権・同和教育
	社会教育、学校教育一体の人権・同和教育を進める。指導者養成講座等への参加を促し、小地域懇談会などにおける指導者の養成を図る ◇各部会の連携強化 ◇委員研修会の開催 ◇各種研修会に派遣参加 ◇小地域懇談会等各種啓発事業を実施	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	補助金	284	一般財源 284
(平成28年度)	予算	補助金	273	一般財源 273
(平成29年度)	計画	補助金	273	一般財源 273
(平成30年度)	計画	補助金	273	一般財源 273

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
6. 男女共同参画社会の実現	施策	(P31) ①男女共同参画計画の推進	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	男女共同参画社会の実現を目指し、村男女共同参画計画に沿って啓発活動等を行う。また、女性の意見を村づくりに反映させるため、各種委員会等への女性の参画を推進する。あらゆる施策における男女共同参画の視点の定着を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会の実現。 委員会・審議会等への女性の参画率の40%を達成。
----	---	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	男女共同参画推進事業
		<ul style="list-style-type: none"> ◇男女共同参画計画の推進 ◇政策形成に女性の意見反映 ◇計画に基づいた啓発活動 ◇男女共同参画講演会等研修会の開催 ◇第3次男女共同参画計画策定に向けたアンケートの作成

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 報償費等	10	一般財源 10
(平成28年度)	予算 報償費等	59	一般財源 59
(平成29年度)	計画 報償費等	59	一般財源 59
(平成30年度)	計画 報償費等	59	一般財源 59

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
6. 男女共同参画社会の実現	施策	(P31) ②活動の支援と人材育成	実施期間	H12～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	女性団体をはじめとする各団体に情報提供し、団体相互の情報交換等を行い、その活動を支援するとともに、研修会等への派遣を行い、人材育成を図る。	到達目標	審議会・研修会等を通じ、情報交換や研修の充実を図り、人材育成を図る。
----	---	------	------------------------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	男女共同参画推進事業
		◇女性団体への情報提供 ◇各種研修会への派遣 ◇審議会等による情報交換

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報酬	21	一般財源 21
(平成28年度)	予算	報酬	90	一般財源 90
(平成29年度)	計画	報酬	90	一般財源 90
(平成30年度)	計画	報酬	90	一般財源 90

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
6. 男女共同参画社会の実現	施策	(P32) ③支援施策の充実	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	女性の社会進出及び男性の家庭内の役割拡大を応援するために、子育て支援施策の充実及び事業所等企業への啓発に努める。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 雇用の場における男女共同参画の推進＝県の推進認定企業の促進、男女とも働きやすい職場づくりへの啓発 仕事と子育ての両立支援・意識啓発＝男性の育児参加の促進など
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	男女共同参画推進事業
	◇村内企業へ男女共同参画の啓発及び体制整備の推進 ◇「鳥取県男女共同参画推進企業」認定制度など様々な制度・支援の広報及び推奨	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	
(平成28年度)	予算	—	
(平成29年度)	計画	—	
(平成30年度)	計画	—	

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
6. 男女共同参画社会の実現	施策	(P32) ④第3次日吉津村男女共同参画計画の策定	実施期間	新規	団体等	

平成28年度実施計画

目的	ワーク・ライフ・バランスの充実支援や女性が活躍できるための支援を行うなど男女共同参画社会の実現を目指すために村男女共同参画計画の見直し・策定を行う。	到達目標	・女性活躍推進計画を盛り込んだ第3次男女共同参画を策定し、男女共同参画社会の実現を目指す。
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	男女共同参画推進事業
	◇第3次男女共同参画計画策定に向けたアンケートの作成および実施 ◇政策の見直しに女性および男性の意見を反映させる	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	
(平成28年度)	予算	—	
(平成29年度)	計画	—	
(平成30年度)	計画	—	

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
7. ボランティアの育成・支援	施策	(P32) ①ボランティア活動の推進	実施期間	H12～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	社会福祉協議会で組織されているボランティアセンターの運営を支援し、ボランティア情報の提供及び新たな人材・団体の発掘に努める。	到達目標	・ボランティアセンターと連携を図り、活動の支援をする。 ・ケーブルテレビ、ホームページ、村報などあらゆる広報媒体を活用し、NPO法人、ボランティア活動についての情報提供を行い、新たな人材の発掘を目指す。

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	◇ボランティアセンターへの支援 ・ボランティアセンター運営委員会等への参加 ・ボランティアフェスティバル、各種イベント等への参加 ◇情報提供 ・ボランティアセンターとの連携を図りながら助成金情報等の提供に努める ・村内ボランティア等各種団体との情報交換会を開催する ・村ホームページで各ボランティア団体を紹介する ・村のCATVで村内のボランティア団体等を積極的に取材し、活動を紹介する	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度		-	
(平成28年度)		-	
(平成29年度)		-	
(平成30年度)		-	

その他意見等

--

第1章 人を愛する豊かな心を育てよう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
7. ボランティアの育成・支援	施策	(P32) ②相談体制の確立と支援	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	ボランティア活動の支援や情報提供に努める。また、相談・支援体制の確立を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンターと連携を図り、活動の支援をする。 ・ケーブルテレビ、ホームページ、村報などあらゆる広報媒体を活用し、NPO法人、ボランティア活動についての情報提供を行い、相談・支援体制の確立を目指す。
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名				
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ボランティアセンターへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター運営委員会等への参加 ・ボランティアフェスティバル、各種イベント等への参加 ◇情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンターとの連携を図りながら助成金情報等の提供に努める ・村内ボランティア等各種団体との情報交換会を開催する 				

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	
(平成28年度)	予算	-	
(平成29年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
1. 健康づくり 1) 健康の増進	施策 (P34) (1)健康づくりの推進 ①医療・保健・福祉・介護の一体的取り組み	実施期間	H19～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	・予防と共に重症化予防にも重点をおき、医療・保健・福祉・介護が一体となった地域包括ケアシステムの構築ならびに地域との協働により、健康づくり思想の普及、啓発を引き続き図る。 ・ヴィレステひえづ内の健康相談健診センターと福祉保健課が連携し、目標を持ち健康寿命の延伸を図る。	到達目標	・効果的な健康相談や健診等の事業実施を行うためにデータヘルス計画を策定し、健康寿命の延伸を目指す。 ・各個人が、好ましい健全な生活を送る為の方法を地域と協働して支援できる体制をつくる。 ・健康な地域づくりの促進を図り、医療費の節減と介護予防につなげる。 ・全世代の処遇困難事例の発生予防、安心して生活できる地域づくり。
----	---	------	--

事業名	市町村保健対策推進事業	
事業内容 (具体的な施策)	◇各年代の地域課題の把握と社会資源に繋ぐネットワークづくりを村内相談機関・相談担当者(ケースワーカー・生活困窮者自立支援相談員・母子保健コーディネーター)にて実施。 ◇ライフステージにおける地域包括ケアシステムの体制づくり ◇ヴィレステひえづ内健康相談健診センターの健診体制・相談指導業務の充実と効率的な実施を図る。相談しやすい場作りに努め、ヴィレステひえづ運営審議会・保健委員会の意見を取り入れる。 ◇四部門が連携し、制度や事業の周知・啓発を継続実施する。 ◇村内の健康課題を分析しデータヘルス計画を策定すると共に計画目標に向け経年的に効果の上がる事業計画の運用を図る。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	
(平成28年度)	予算	—	
(平成29年度)	計画	—	
(平成30年度)	計画	—	

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
1. 健康づくり 1) 健康の増進	施策	(P34) (1)健康づくりの推進 (2)健康づくり事業の実施	実施主体 ()村直営 (○)団体 (○)その他
			実施期間 H18～継続 団体等 健康づくり推進協議会

平成28年度実施計画

目的	健康づくり推進協議会・健康づくり連絡会を中心に、健康づくり意識の普及・啓発や講習会等の事業を実施するとともに、生活習慣病の予防を重点に取り組む。	到達目標	・健康への関心を高める。 ・予防に重点を置き、糖尿病・メタボリックシンドローム等、生活習慣病予防の普及啓発。
事業内容 (具体的な施策)	事業名 市町村保健対策推進事業 ◇健康カレンダー配布(年1回3月)。 ◇ふれあいフェスタで、健康づくり広場の開催(11月)。 ◇ウォーキングイベントの開催(年2回)(5/11に長谷寺ウォーキング開催。2回目の行き先や開催日等詳細は未定)。 ◇ノルディック・ウォーク教室の開催(月1回、年12回)。 ◇「19のまちを歩こう事業」(県事業)の開催(年1回)。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報償費・委託料	529	一般財源 529
(平成28年度)	予算	報償費・委託料	619	一般財源 619
(平成29年度)	計画	報償費・委託料	659	一般財源 659
(平成30年度)	計画	報償費・委託料	619	一般財源 619

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
1. 健康づくり 1) 健康の増進	施策	(P34) (2)健康づくり体制の充実 ①健康づくり連絡会の充実	実施主体 ()村直営 (○)団体 (○)その他
			実施期間 H18～継続 団体等 健康づくり推進協議会

平成28年度実施計画

目的	各地域・団体からなる「健康づくり連絡会」の活動を進め、統一的に取組める目標を設定し、健康への意識管理能力の向上を図る。	到達目標	・連絡会の3部会による活動の実施。 ・統一目標に基づく、ノルディック・ウォーク教室などの実施。
事業内容 (具体的な施策)	事業名 市町村保健対策推進事業 ◇健康づくり連絡会の開催(年2回)。 ◇3部会(企画運営部会、調査部会、啓発部会)の開催(各3回程度)。 ◇ウォーキングに関するイベントの開催(年3回)。 ◇ノルディック・ウォーク教室の開催(年12回)。 ◇統一目標に基づき、各地域・団体で可能な取組みを実施。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	Ⅱ-2に計上
(平成28年度)	予算	—	Ⅱ-2に計上
(平成29年度)	計画	—	Ⅱ-2に計上
(平成30年度)	計画	—	Ⅱ-2に計上

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう				
1. 健康づくり 1) 健康の増進	施策	(P34) (2)健康づくり体制の充実 ②関係機関の連携強化	実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間	H18～ 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	医療・保健・福祉・介護の一体的推進を目指し、行政内部の組織体制のあり方と併せ、村内外関係機関との連携を図る。	到達目標	・健康づくり推進協議会・健康づくり連絡会等と連携し、取組み強化を図る。 ・社会福祉協議会や地域ケア会議、他課との連携強化を図る。
事業内容 (具体的な施策)	事業名	市町村保健対策推進事業	
	◇健康づくり連絡会を中心とした運営。 ◇生活圏域における予防を重視した連携。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	Ⅱ-2に計上
(平成28年度)	予算	—	Ⅱ-2に計上
(平成29年度)	計画	—	Ⅱ-2に計上
(平成30年度)	計画	—	Ⅱ-2に計上

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくらう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
1. 健康づくり 1) 健康の増進	施策	(P34) (3) 食生活の改善 ①「食育」の推進	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	食事と健康は切り離して考えられないため、乳幼児期から高齢期までのライフステージごとの課題に対応した教育・啓発活動等を図る。	到達目標	・ライフステージに沿った食生活指導。 ・関係機関と連携を図り、年代別の問題点を解決する。				
事業名	(具体的な施策)	母子保健事業	◇離乳食講習会(3回)、乳児・1歳6か月児・2歳児・3歳児(各4回)・5歳児健診・1歳児相談(各3回)・相談、育児学級(各1回)の料理体験。 ◇保育所・小学校・子育て支援センター等との連携。 ◇栄養士連絡会の開催(月1回)	健康増進事業	◇特定保健指導、健診・人間ドック事後相談。 ◇病態別教室、一般高齢者・特定高齢者栄養改善事業。	市町村保健対策推進事業	◇食生活改善推進員の教育研修講座。 ◇食生活改善推進員活動に必要な情報提供等。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度		—	Ⅱ-8に計上		—	Ⅱ-12に計上	委託料・備品購入費	28	一般財源 28
(平成28年度)		—	Ⅱ-8に計上		—	Ⅱ-12に計上	委託料・備品購入費	49	一般財源 49
(平成29年度)		—	Ⅱ-8に計上		—	Ⅱ-12に計上	委託料・備品購入費	33	一般財源 33
(平成30年度)		—	Ⅱ-8に計上		—	Ⅱ-12に計上	委託料・備品購入費	33	一般財源 33

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう		実施主体	()村直営 (○)団体 (○)その他	
1. 健康づくり 1) 健康の増進	施策 (P34) (3)食生活の改善 ②食生活改善推進員の養成・育成	実施期間	H18～ 継続	団体等 食生活改善推進 員会

平成28年度実施計画

目的	食生活改善推進員の拡充のためPRに努め、食生活改善推進員会と連携し、食生活改善活動に取り組む。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・会員のための研修会開催。 ・一般住民向け各種教室等の開催。 ・村内イベントへの協力。
事業内容	事業名 市町村保健対策推進事業 (具体的な施策) ◇会員研修会 ・教育研修講座、農産加工講習会、推進員研修会、リーダー研修、郷土料理講習会 ◇各種教室等 ・自治会伝達講習会、元気なからだ教室、親と子の料理教室 ◇村内イベント協力 ・チューリップマラソン、ふれあいフェスタ		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 委託料	331	一般財源 331
(平成28年度)	予算 委託料	500	一般財源 500
(平成29年度)	計画 委託料	485	一般財源 485
(平成30年度)	計画 委託料	448	一般財源 448

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
1. 健康づくり 1) 健康の増進	施策	(P35) (4)保健師・栄養士活動の充実整備	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	保健師、栄養士等が地域住民の健康課題を分野横断的(課内職員間で連携を取り合い、必要な支援者につなぐこと)に把握・評価し、効果的・効率的な活動を展開する。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・住民のニーズに迅速に対応し、必要に応じて適切な支援につなげる。 ・保健師、栄養士の相互連携を図るとともに、他職種、関係機関、住民等と連携及び協働して保健活動を実施する。 ・保健師、栄養士等が専門的な知識と技術、コーディネート能力を向上させる。 ・実践を通して、保健師としての知識や技術を習得する。
事業内容	<p>事業名</p> <p>(具体的な施策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇訪問指導、健康相談、健康教育等の方法を適切に用いて、保健活動を行う。 ◇総合的な相談事業を行い、住民の主体的な健康づくりを支援する。 ◇地域の健康課題に応じて、対象者に対し効果的な健康診査及び保健指導を実施する。 ◇母子保健、高齢者医療福祉、児童福祉、精神保健福祉、障がい福祉等の対策に関する保健活動を行う。 ◇保健衛生、国民健康保険、介護保険部門が密に連携を図り、効果的に住民の健康増進、生活習慣病予防、介護予防に取り組む。 ◇人材育成のための各種研修会へ参加できる体制を整備し、専門的な知識及び技術を習得する。 ◇職場内研修を実施し、保健師等の連携と技術の向上を図る。 		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	
(平成28年度)	予算	-	
(平成29年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策	(P37) (1) 母子保健 ① 子どもや親の健康の確保	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	妊娠・出産から子どもの成長まで総合的な健康管理等を『妊娠・出産包括支援事業』と連動して行うことにより、常時相談に応じることの出来る体制づくりを促進する。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・親子の健康的な生活習慣の確立 ・親子の心身の健康に関する知識の普及啓発および家庭の生活スタイルに沿った支援(子育てプラン等の提供の充実) ・男性の育児参加の促進
----	--	------	---

事業内容	事業名	母子保健事業
	(具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ◇妊婦健康診査 ◇プレパパ・プレママ教室(両親学級)年3回 ◇乳幼児健康診査(3~4ヶ月※、5~7ヶ月、9~10ヶ月※、1歳6ヶ月、2歳、3歳、5歳) ※…委託医療機関での個別健診、それ以外は集団健診。 ◇ブックスタート ◇1歳児相談(年3回) ◇離乳食講習会(年3回)、育児学級(年6回)、おしゃべり広場(月1回程度) ◇訪問指導、電話相談等 ◇未熟児養育医療

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	委託料、賃金他	7,617	国庫支出金100 県支出金75 その他34 一般財源7,408
(平成28年度)	予算	委託料、賃金他	7,136	国庫支出金100 県支出金75 その他34 一般財源6,927
(平成29年度)	計画	委託料、賃金他	7,136	国庫支出金100 県支出金75 その他34 一般財源6,927
(平成30年度)	計画	委託料、賃金他	7,136	国庫支出金100 県支出金75 その他34 一般財源6,927

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策	(P37) (1) 母子保健 (2) 思春期保健対策の充実	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	性行動の低年齢化、薬物乱用、引きこもり、不登校など思春期に起こりがちな問題へ対応するため、学習・啓発活動や相談体制の充実を図る。	到達目標	・相談体制の充実 ・小中学生や親世代に対して、性行動、薬物等に関する知識や対応等の啓発
事業内容 (具体的な施策)	事業名	母子保健事業	
	◇啓発活動の推進 ◇相談体制の充実(休日相談の開始) ◇庁内での情報共有強化 ◇関係機関との情報共有		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		-	Ⅱ-8に計上
(平成28年度) 予算		-	Ⅱ-8に計上
(平成29年度) 計画		-	Ⅱ-8に計上
(平成30年度) 計画		-	Ⅱ-8に計上

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策	(P37) (1) 母子保健 ③ 小児医療の充実	実施期間		継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	かかりつけ医の定着を図るとともに、小児の夜間・休日診療や救急時の対応について情報提供を行う。	到達目標	・かかりつけ医の定着 ・小児医療機関の診療日・診療時間の情報や救急対応についての情報提供を行い、周知を図る。
----	--	------	---

事業名		
事業内容 (具体的な施策)	◇かかりつけ医の定着のため、乳幼児健診や相談の際など、さまざまな機会での啓発 ◇とっとり子ども救急ダイヤル(＃8000)の周知 ◇小児救急ハンドブックの配布 ◇西部地区医療機関のリストを配布(夜間・休日診療対応) ◇おくすり手帳の推進	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	Ⅱ-8に計上
(平成28年度)	予算	-	Ⅱ-8に計上
(平成29年度)	計画	-	Ⅱ-8に計上
(平成30年度)	計画	-	Ⅱ-8に計上

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策	(P37) (2)健康増進事業 ①受診機会の充実と受診率の向上	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	対象者の適正な把握に努めるとともに、受診機会の充実と未受診者への受診勧奨を行い、受診率の向上を図る。	到達目標	・受診率50%の達成			
事業内容	事業名	健康増進事業	がん検診推進事業	働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業 (前年度からの繰越事業)		
	(具体的な施策)	◇対象者の把握(毎年度当初に各種がん検診の希望調査を実施・転入者への受診勧奨) ◇特定健診(9月実施)とがん検診(胃がん等)の同時実施 ◇健康手帳配布(随時)、健康教育(年3回)、健康相談(11月～随時)の実施 ◇休日がん検診の実施 ◇未受診者への受診勧奨 ◇特定健診やがん検診(大腸がん)の受診機会を増やす ◇骨粗鬆症検診と乳がん検診の同時実施	◇特定年齢に対し大腸がん検診の無料クーポン券および検診手帳の送付 ◇対象者の把握(毎年度当初に各種がん検診希望調査を実施) ◇特定健診等との同時実施(大腸がん) ◇休日がん検診(大腸がん)の実施 ◇未受診者への受診勧奨	◇特定年齢に対し子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券の送付 ◇対象者の把握(毎年度当初に各種がん検診希望調査を実施) ◇特定健診等との同時実施(乳がん) ◇休日がん検診(乳がん)の実施 ◇未受診者への受診勧奨 ◇医療機関委託と集団検診の実施		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	需用費・委託料等	9,562	県支出金 253 諸収入 386 一般財源 8,923	需用費・委託料等	145	国庫支出金 72 一般財源 73	需用費・委託料等	280	国庫支出金 140 一般財源 140
(平成28年度)	需用費・委託料等	10,198	県支出金 289 諸収入 1,613 一般財源 8,296	—	—	—	—	—	—
(平成29年度)	需用費・委託料等	10,198	県支出金 289 諸収入 1,613 一般財源 8,296	—	—	—	—	—	—
(平成30年度)	需用費・委託料等	10,198	県支出金 289 諸収入 1,613 一般財源 8,296	—	—	—	—	—	—

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策 (P37) (2)健康増進事業 ②年代に応じた保健予防事業の推進	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	ヴィステピア内健康相談健診センターを中心として、65歳以上については、地域包括支援センターと連携し、介護予防を重点とした健康教育等を実施し、65歳未満については、引き続き生活習慣病予防を重点とした事業を推進する。	到達目標	・各種がん検診推進事業・特定健診・特定保健指導等の円滑な実施 ・生活習慣病予防の啓発
事業内容	事業名 健康増進事業 (具体的な施策) ◇特定健診および特定保健指導(40歳～74歳の国民健康保険加入者) ◇後期高齢者健康診査・人間ドック(75歳以上) ◇糖尿病予防教室等の健康教育の実施 ◇各種がん検診事業の実施 ◇前期高齢者(65歳～)においては、地域包括支援センターと連携して生活習慣病予防意識の啓発 ◇骨粗鬆症予防教室の実施 ◇健康相談健診センターを活用した相談・健診・情報提供等を進めるとともに、健康に関する講座を開設する。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	Ⅱ-13に計上
(平成28年度)	予算	—	Ⅱ-13に計上
(平成29年度)	計画	—	Ⅱ-13に計上
(平成30年度)	計画	—	Ⅱ-13に計上

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策	(P37) (2) 健康増進事業 ③ 関係団体との連携	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	保健委員会、健康づくり推進協議会等関係機関と情報を共有しながら、疾病予防意識の普及、啓発を推進する。	到達目標	・疾病予防意識の向上
事業内容 (具体的な施策)	事業名	市町村保健対策推進事業	
	◇保健委員会(保健に係る事業の改善や進行状況などを確認する委員会)の開催 ◇各種研修等の参加促進 ◇疾病予防の啓発		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報償費	42	一般財源 42
(平成28年度)	予算	報償費	72	一般財源 72
(平成29年度)	計画	報償費	72	一般財源 72
(平成30年度)	計画	報償費	72	一般財源 72

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策	(P37) (3) 感染症・結核予防対策 ① 防疫体制の整備	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	感染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進を図る。	到達目標	・新型インフルエンザマニュアル、行動計画の充実 ・新型インフルエンザなどの感染症に即応できる防疫体制を整える
事業内容 (具体的な施策)	事業名	予防接種	
	◇防疫体制の確保 ◇感染症の多様化に対応した啓発活動 ◇新型インフルエンザマニュアル、行動計画の適宜見直し ◇特定接種(公務員)の登録		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	委託料、需用費他	10,508	県支出金 11 一般財源 10,497
(平成28年度) 予算	委託料、需用費他	13,184	県支出金 14 一般財源 13,170
(平成29年度) 計画	委託料、需用費他	13,184	県支出金 14 一般財源 13,170
(平成30年度) 計画	委託料、需用費他	13,184	県支出金 14 一般財源 13,170

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策	(P38) (3) 感染症・結核予防対策 ② 啓発活動の推進と接種率の向上	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	感染症および予防対策に関する情報提供、普及啓発を推進する。	到達目標	・感染症予防対策の充実 ・予防接種率、結核検診受診率の向上
事業内容	事業名	結核予防事業	予防接種
	(具体的な施策)	◇結核検診受診勧奨 ・個別通知、広報等を通じて検診の受診勧奨	◇予防接種勧奨 ・個別通知、広報、ホームページ等を通じて感染症やその予防対策について周知啓発、接種勧奨等の実施 ・対象予防接種: (定期)BCG、二種・三種・四種混合、不活化ポリオ、MR、水痘、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防、高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌 (任意)小児インフルエンザ、風しん、おたふくかぜ、水痘、ロタウイルス、B型肝炎

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	Ⅱ-14に計上	—	—	Ⅱ-14に計上
(平成28年度)	予算	—	Ⅱ-14に計上	—	—	Ⅱ-14に計上
(平成29年度)	計画	—	Ⅱ-14に計上	—	—	Ⅱ-14に計上
(平成30年度)	計画	—	Ⅱ-14に計上	—	—	Ⅱ-14に計上

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他	
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策 (P38) (4) 口腔衛生対策 ①乳幼児期、②学童期、③壮年期、④高齢期	実施期間	継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	(乳幼児期、学童期) 親子が共に口腔内と歯の健康を保つことにより、生涯にわたる健康の基礎を築く。 (壮年期、高齢期) 口腔内と歯の健康を保つことにより、全身の健康の維持向上を図り、健康寿命延伸の一助とする。	到達目標	(乳幼児期) ・う蝕罹患率を下げる (参考)H27年度 1歳6か月健診【0%】(H26年度0%) 3歳児健診【13%】(H26年度22%) (学童期、壮年期、高齢期) ・かかりつけ歯科医の定着 ・口腔衛生の向上 ・かかりつけ歯科医の定着
事業内容 (具体的な施策)	事業名	母子保健事業	
	(乳幼児期) ◇口腔衛生教育・指導(保育所・子育て支援センター) ◇歯科健診・フッ素塗布(春・秋) ◇フッ素洗口(保育所で実施、週5回) ◇健口キッズ(保育所において口を使った遊びの指導)	(壮年期) ◇歯周疾患検診(40・50・60・70歳) ◇集団検診の会場やフェスタ等のイベントにおける口腔衛生向上のための啓発活動	(高齢期) ◇集団検診の会場やフェスタ等のイベントにおける口腔衛生向上のための啓発活動 ◇口腔衛生教育(後期高齢者医療広域連合モデル事業)
	(学童期) ◇口腔衛生教育・指導(小学校、年2回) ◇歯科検診(小学校、年2回)		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	II-8、II-11に計上
(平成28年度)	予算	-	II-8、II-11に計上
(平成29年度)	計画	-	II-8、II-11に計上
(平成30年度)	計画	-	II-8、II-11に計上

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう				実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
1. 健康づくり 2) 保健・衛生	施策	(P38) (5) 地域医療体制の整備		実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	重篤な救急患者が迅速かつ適切な医療が受けられる体制を整備し、地域医療の向上を図る。	到達目標	西部保健医療圏域地域保健医療計画の推進
事業内容	事業名 ◇地域医療体制の整備 ◇地域医療のあり方の検討(西部保健医療圏域地域保健医療協議会)		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	
(平成28年度)	予算	—	
(平成29年度)	計画	—	
(平成30年度)	計画	—	

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくらう			実施主体		(○)村直営 (○)団体 ()その他	
2. 福祉の充実 1) 高齢者福祉	施策	(P40)	実施期間	H18～ 継続	団体等	南部箕蚊屋広域連合 日吉津村社会福祉協議会
		①包括支援システムの構築(地域包括支援センターの機能強化) ②見守り体制の構築				

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢者の包括的・継続的なケアマネジメントや相談支援の中核機関と位置づけ、介護・医療・福祉サービスや地域活動等の情報の一元化と関係機関との連携を図り、地域包括ケアシステムの構築を目指す。地域ケア会議を通して、地域課題の把握及び多職種間ネットワークづくりを推進する。 ・高齢者の閉じこもりを防ぎ、要介護状態になることなく、地域の中でいきいきと生活が送れることを目指す。 ・高齢者のみ世帯の孤立化を防ぎ、安心して暮らせる支え合いの体制づくりを推進する。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの構築 ・総合相談窓口の体制強化 ・高齢者の健康保持と閉じこもりを防ぐ ・認知症予防 ・高齢者の虐待防止、権利擁護事業の充実 ・高齢者のみ世帯の見守り体制の構築
	事業名	地域包括支援センター運営事業	介護予防・生活支援対策事業
事業内容 (具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの周知徹底 ・保健師、介護支援専門員、社会福祉士の専門員の配置により、高齢者を取りまく各種問題に対する支援を行う。 ・高齢者のみ世帯の孤立化を防ぐため、訪問活動等を行う。 ・月1回の地域ケア会議の開催により、多職種による支援検討、地域課題の把握及び多職種間のネットワークづくりを行う。 ・医療機関、介護サービス事業所、社会福祉協議会等、各種関係機関との連携及びネットワーク構築に努める。 ・成年後見制度を適用し、高齢者の権利を擁護する 	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒骨折予防事業(230人/月) ・認知症予防・介護事業(260人/月) ・足指・爪ケア事業 ・筋力向上トレーニング事業(130人/月) ・軽度生活支援事業(40時間/月) ・生活管理指導員派遣事業(1時間/月) ・訪問理美容サービス事業(15人、年2回) ・生活管理指導短期宿泊事業(7日/年) ・緊急通報装置の貸与 ※()内は、利用見込み人数又は利用見込み時間	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	需用費 役務費 委託料等	361	諸収入 329 一般財源32	委託料等	22,513	県支出金 323 手数料 1,419 負担金 887 一般財源 19,884
(平成28年度)	需用費 役務費 委託料等	586	諸収入 329 一般財源257	委託料等	24,402	手数料 1,516 負担金 3,033 一般財源19,853
(平成29年度)	需用費 役務費 委託料等	586	諸収入 329 一般財源257	委託料等	24,402	手数料 1,516 負担金 3,033 一般財源19,853
(平成30年度)	需用費 役務費 委託料等	586	諸収入 329 一般財源257	委託料等	24,402	手数料 1,516 負担金 3,033 一般財源19,853

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体		
2. 福祉の充実 2) 障がい者(児)福祉	施策	(P41) ①障がい者制度に基づく支援	()村直営 (○)団体 (○)その他		
			実施期間	H18 ～ 継続	団体等 相談支援事業者等

平成28年度実施計画

目的	到達目標
・障害者総合支援法において、「相談支援の充実を図ること」とされたことを踏まえ、相談支援体制の充実、強化を図る。 ・「身体」「知的」「精神」「難病」を含めたどの障がい者も、共通の福祉サービスを受けられ、地域で自立した生活を送れるよう総合的な支援に努める。	・障がい者のニーズや課題解決にきめ細かく対応し、必要に応じて適切な障がい福祉サービス等に結びつけて行くための相談支援体制の充実。 ・適切なサービスの提供・実施 ・制度、障がい福祉サービス等の周知
事業名	事業内容
障害者自立支援給付事業	◇障がい福祉サービス利用者(居宅介護、行動援護、生活介護、療養介護、共同生活介護、短期入所、自立支援、施設入所支援、就労継続支援B型など)に対し、訪問調査による利用者の障害支援区分(非該当・区分1～6)や、社会活動、介護者、居住等の状況をふまえて個別に支給決定を行う。 ◇障がい福祉サービスを利用した時の利用者負担額は原則かかった経費の1割だが、所得の状況に応じ負担上限月額を設定する。
地域生活支援事業	◇成年後見制度利用促進事業 ◇相談支援事業 ◇意思疎通支援事業 ◇相談支援専門員連続研修会 ◇普及啓発事業 ◇聴覚障がい者生活支援事業 ◇自動車運転免許取得・改造助成事業 ◇地域活動支援センター運営補助事業 ◇日常生活用具給付事業 ◇移動支援事業 ◇日中一時支援事業

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	委託料・扶助費等	74,133	国庫支出金 35,565 県支出金 17,783 一般財源 20,785	委託料・負担金補助金及び交付金・扶助費	7,188	国庫支出金 2,085 県支出金 1,797 一般財源 3,306
(平成28年度)	予算	委託料・扶助費等	74,242	国庫支出金 37,121 県支出金 18,560 一般財源 18,561	委託料・負担金補助金及び交付金・扶助費	8,235	国庫支出金 1,713 県支出金 1,965 一般財源 4,557
(平成29年度)	計画	委託料・扶助費等	74,242	国庫支出金 37,121 県支出金 18,560 一般財源 18,561	委託料・負担金補助金及び交付金・扶助費	8,235	国庫支出金 1,713 県支出金 1,965 一般財源 4,557
(平成30年度)	計画	委託料・扶助費等	74,242	国庫支出金 37,121 県支出金 18,560 一般財源 18,561	委託料・負担金補助金及び交付金・扶助費	8,235	国庫支出金 1,713 県支出金 1,965 一般財源 4,557

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう				実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
2. 福祉の充実 2)障がい者(児)福祉	施策	(P41) ①障がい者制度に基づく支援		実施期間	H18 ～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法において、「相談支援の充実を図ること」とされたことを踏まえ、相談支援体制の充実、強化を図る。 ・「身体」「知的」「精神」「難病」を含めたどの障がい者も、共通の福祉サービスを受けられ、地域で自立した生活を送れるよう総合的な支援に努める。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者のニーズや課題解決にきめ細かく対応し、必要に応じて適切な障がい福祉サービス等に結びつけて行くための相談支援体制の充実。 ・適切なサービスの提供・実施 ・制度、障がい福祉サービス等の周知
事業内容	事業名	自立支援医療給付事業	補装具交付事業
	(具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ◇身体障害者手帳所持者であって、人工透析療法や心臓のペースメーカー植込術等の医療を行うことで、その障がいの軽減につながる方に対し、医療費の一部を負担する。 ◇自己負担の割合は、原則医療費の1割とし、所得状況に応じて負担上限月額を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇障がい者の身体機能の損失部分を補うために必要な補装具(車いすや補聴器、義肢など)の購入や修理にかかる経費の一部を助成する。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	1,679	国庫支出金 840	扶助費	586	国庫支出金 293
			県支出金 419			県支出金 146
			一般財源 420			一般財源 147
(平成28年度)	予算	2,358	国庫支出金 1,179	扶助費	934	国庫支出金 467
			県支出金 589			県支出金 233
			一般財源 590			一般財源 234
(平成29年度)	計画	2,358	国庫支出金 1,179	扶助費	934	国庫支出金 467
			県支出金 589			県支出金 233
			一般財源 590			一般財源 234
(平成30年度)	計画	2,358	国庫支出金 1,179	扶助費	934	国庫支出金 467
			県支出金 589			県支出金 233
			一般財源 590			一般財源 234

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体	
2. 福祉の充実 2) 障がい者(児)福祉	施策	(P41) ①障がい者制度に基づく支援	()村直営 (○)団体 (○)その他	
			実施期間	
			H18～ 継続	団体等 社会福祉団体等

平成28年度実施計画

目的	到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援法において、「相談支援の充実を図ること」とされたことを踏まえ、相談支援体制の充実、強化を図る。 ・「身体」「知的」「精神」「難病」を含めたどの障がい者も、共通の福祉サービスを受けられ、地域で自立した生活を送れるよう総合的な支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者のニーズや課題解決にきめ細かく対応し、必要に応じて適切な障がい福祉サービス等に結びつけて行くための相談支援体制の充実。 ・適切なサービスの提供・実施 ・制度、障がい福祉サービス等の周知
事業名	事業内容
障害者グループホーム夜間世話人等配置事業 (具体的な施策)	夜間世話人を配置している障がい者のグループホームやケアホームに対し、配置した世話人にかかる賃金等に対し補助を行う。 重度障がい児者支援事業 重症心身障がい児者等がより地域で生活しやすくするため、日中活動の場における支援の充実、住まいの場の充実を図る。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	負担金、補助及び交付金	271	県支出金135 一般財源136	684	県支出金342 一般財源342
(平成28年度)	予算	負担金、補助及び交付金	212	県支出金106 一般財源106	684	県支出金342 一般財源342
(平成29年度)	計画	負担金、補助及び交付金	212	県支出金106 一般財源106	684	県支出金342 一般財源342
(平成30年度)	計画	負担金、補助及び交付金	212	県支出金106 一般財源106	684	県支出金342 一般財源342

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
2. 福祉の充実 2) 障がい者(児)福祉	施策	(P41) ②「障がい者福祉計画」等の見直し	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 H18~継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> 在宅で生活されている障がい者の生活を支援する。 村単独助成を継続し、障がい者の社会参加を促進する。 	到達目標	地域社会において障がい者の自立を図る
事業内容	事業名	障がい者住宅改良助成事業	年金・医療等村単独事業
	(具体的な施策)	◇住宅改修経費の2/3助成(村内の身体障害者手帳1・2級、療育手帳A取得者)。改修経費の上限額は1,000千円。	◇心身障害者・生活保護世帯福祉年金 ◇心身障害者等医療費助成 ◇人工透析患者通院費助成 ◇排泄管理支援用具助成金 ◇重度心身障がい者等社会参加促進助成

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	扶助費	0	-	扶助費	2,994	県支出金 820 一般財源 2,174
(平成28年度) 予算	扶助費	999	県支出金 666 一般財源 333	扶助費	3,311	県支出金 900 一般財源 2,411
(平成29年度) 計画	扶助費	999	県支出金 666 一般財源 333	扶助費	3,311	県支出金 900 一般財源 2,411
(平成30年度) 計画	扶助費	999	県支出金 666 一般財源 333	扶助費	3,311	県支出金 900 一般財源 2,411

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう				実施主体	
2. 福祉の充実 2) 障害者(児)福祉	施策	(P41) ③障がい児の早期発見・予防		(○)村直営 ()団体 ()その他	
				実施期間	継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	早期から障がい特性に配慮した療育の機会を提供することで、二次障がいの予防を図る。 また、重度障がい児・者に対し手当の支給を行い、経済的負担の軽減を図る。	到達目標	・障がい児のニーズや課題解決にきめ細かく対応し、必要に応じて適切な障がい福祉サービス等に結びつけて行くための相談支援体制の充実 ・障がい福祉サービスの周知 ・在宅の重度障がい児・者の家庭の経済的負担の軽減
事業内容	事業名	特別障害者手当等給付事業	障害児通所給付事業
	(具体的な施策)	◇常時特別な介護が必要な在宅で生活されている障がい児・者に対し手当を支給する。 ・特別障害者手当(20歳以上):月額26,830円を5・8・11・2月に支給。 ・障害児福祉手当(20歳未満):月額14,600円を5・8・11・2月に支給。	◇(医療型)児童発達支援 就学前の児童に療育等を行う ◇放課後等デイサービス 就学中の児童、生徒に療育等を行う ◇保育所等訪問支援 保育所、小学校、学童保育に通う児童に対して訪問支援を行う

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	扶助費	2,441	国庫支出金 1,831 その他 239 一般財源 371	役務費・扶助費	2,780	国庫支出金 1390 県支出金 695 一般財源 695
(平成28年度)	予算	扶助費	2,308	国庫支出金 1,730 その他 158 一般財源 420	役務費・扶助費	5,039	国庫支出金 2,514 県支出金 1,257 一般財源 1,268
(平成29年度)	計画	扶助費	2,308	国庫支出金 1,730 その他 158 一般財源 420	役務費・扶助費	5,039	国庫支出金 2,514 県支出金 1,257 一般財源 1,268
(平成30年度)	計画	扶助費	2,308	国庫支出金 1,730 その他 158 一般財源 420	役務費・扶助費	5,039	国庫支出金 2,514 県支出金 1,257 一般財源 1,268

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体	
2. 福祉の充実 3)ひとり親家庭に対する福祉	施策	(P42) ①相談支援体制の充実	(○)村直営 ()団体 ()その他	
			実施期間	
			継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	ひとり親家庭の経済的自立と生活意欲向上のため、民生児童委員、西部福祉保健局等と連携を図りながら支援を行うことで、ひとり親家庭に対する相談支援体制を充実させる。	到達目標	ひとり親家庭が適正に手当を受給し、自立した生活を営めるように支援する。
事業内容	事業名 (具体的な施策) ・研修会等への参加をとおり、母子父子自立支援員の資質向上に努める。 ・西部福祉保健局等と連携し、様々なニーズに対応する。 ・児童扶養手当、母子寡婦福祉資金貸付等の必要な制度が適切に利用できるよう支援する。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		-	
(平成28年度) 予算		-	
(平成29年度) 計画		-	
(平成30年度) 計画		-	

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
2. 福祉の充実 3)ひとり親家庭に対する福祉	施策	(P42) ②制度の活用	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	ひとり親家庭に対し、児童扶養手当等を支給することで、経済的な安定と自立の促進を図る。	到達目標	ひとり親家庭が適正に手当を受給し、自立した生活が営めるように支援する。
----	--	------	-------------------------------------

事業内容	事業名	児童扶養手当給付事業	母子自立生活支援事業
	(具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> 新規認定請求、現況届等の審査を適切に実施し、適正な手当の支給に努める。 住民課窓口と連携し、新規認定請求漏れを防止する。 広報の充実(HP、村報) 	<ul style="list-style-type: none"> 個別相談において、就業支援、施設入所について情報提供を行い、申請等の支援を行う。 広報の充実 訓練促進給付金受給者に対しては、毎月修業状況を確認し、適正な支給に努める。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	需用費・委託料・扶助費	12,230	国 4,318 一般 7,912	委託料・扶助費	-	
(平成28年度) 予算	需用費・委託料・扶助費	13,702	国 4,510 一般 9,192	委託料・扶助費	2,388	国 1,502 県 282 負担金 6 一般財源 598
(平成29年度) 計画	需用費・委託料・扶助費	13,702	国 4,510 一般 9,192	委託料・扶助費	2,388	国 1,502 県 282 負担金 6 一般財源 598
(平成30年度) 計画	需用費・委託料・扶助費	13,702	国 4,510 一般 9,192	委託料・扶助費	2,388	国 1,502 県 282 負担金 6 一般財源 598

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
2. 福祉の充実 4) 低所得者福祉	施策	(P43) ①相談・指導体制の充実	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	低所得者世帯が抱える様々な問題に適切に対処できるよう、民生委員・児童委員などと連携して、相談・援助体制を充実する。H27. 4月からは、生活困窮者自立支援法が施行され、自立支援相談員が1名配置された。生活保護に陥る前の段階で、伴走型の相談支援を実施し、セーフティネットの役割を果たすことを目的としている。	到達目標	生活困窮世帯へ相談援助を行うにあたり、必要な支援に繋がられるよう他部署・他機関等との連携を図る。また、アウトリーチ(訪問)を積極的に行いながら、相談員が地域に出かけ、低所得者の様々な問題に寄り添いながら支援を継続し自立を促す。
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	生活困窮者自立支援事業
		◇相談・指導体制の充実 ・生活困窮者自立支援法に基づき、相談員1名、就労支援員1名(県へ委託)を配置。 ・また、各相談員は国の研修へ参加しスキルアップを図る。 ・福祉事務所との連携を図りながら、ワンストップでの相談指導体制を充実させる。 ・民生児童委員や庁内連携を密にししながら、生活困窮者の把握に努める。 ・村広報・HPで、相談窓口の周知をする。 ・ハローワークとの連携(就労支援による就労自立を目指す)。 ・社会福祉協議会との連携(福祉貸付金の利用により、生活の立て直しを計画的に実施する)。 ・住居確保給付金(離職による住居喪失を防ぐため家賃補助を行い、自立を支援する)。 ・フードバンクの利用(手持金がない状態の方へ、緊急的に食料を援助する)。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報酬・共済費・負担金・扶助費	2,574	国庫支出金 1,931 一般財源 643
(平成28年度)	予算	報酬・共済費・旅費・需用費・負担金・扶助費	3,501	国庫支出金 2,623 一般財源 878
(平成29年度)	計画	報酬・共済費・旅費・需用費・負担金・扶助費	3,501	国庫支出金 2,623 一般財源 878
(平成30年度)	計画	報酬・共済費・旅費・需用費・負担金・扶助費	3,501	国庫支出金 2,623 一般財源 878

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 福祉の充実 4) 低所得者福祉	施策	(P43) ②援護施策の充実	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	地域の低所得者の福祉の向上を目指すため、生活保護の適正な運営を含む援護施策の充実を図る。	到達目標	援護施策の適正化を行い、低所得者の自立を図る。 ・医療扶助の適正化 ・収入資産調査の充実強化等による認定事務の適正化 ・生活保護関係職員の資質向上
事業内容 (具体的な施策)	事業名	生活保護総務一般事業	生活保護扶助
		◇医療扶助の適正化 ・嘱託医と委託契約を結び、保護受給者の受診状況が適正であるか可否意見書をもとに医師に判定を依頼し、併せて、レポート点検員との委託契約により、レポートの内容点検を実施し過誤による医療扶助費の支出の適正化に努める。 ◇職員研修 ・県・本庁・国が主催する研修に参加することにより、生活保護関係職員の資質の向上を図る。 6月:生活保護ケースワーカー全国研修 等	◇生活保護新規申請に対し、世帯調査・保護の要否判定・決定・支給を行う。(平成28年度は3世帯の増加を見込む) ◇生活保護受給世帯に対し、毎月の生活実態を訪問調査し、毎月の保護費の認定・支給を実施。また、訪問に伴い生活相談や就労支援を実施し、併せて不正受給の防止に努める。 ◇施設入所者を除く生活保護世帯に対し、県から世帯構成人数に応じ5,000円～5,300円の見舞金を支給。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 報酬・賃金・旅費等	1,576	国庫支出金 194	扶助費	10,102	国庫支出金 7,554
			県支出金 1			県支出金 30
			一般財源 1,381			諸収入 1
						一般財源 2,517
(平成28年度)	予算	1,561	国庫支出金 212	扶助費	13,133	国庫支出金 9,814
			県支出金 1			県支出金 230
			一般財源 1,348			諸収入 1
						一般財源 3,088
(平成29年度)	計画	1,561	国庫支出金 212	扶助費	13,133	国庫支出金 9,814
			県支出金 1			県支出金 230
			一般財源 1,348			諸収入 1
						一般財源 3,088
(平成30年度)	計画	1,561	国庫支出金 212	扶助費	13,133	国庫支出金 9,814
			県支出金 1			県支出金 230
			一般財源 1,348			諸収入 1
						一般財源 3,088

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
3. 社会保険の充実 1) 国民健康保険・後期高齢者医療	施策	(P44) ①早期発見・早期治療の推進	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	早期発見・早期治療に取り組み、村全体の健康づくりを推進する。これにより、国民健康保険制度の健全な運営及び財政基盤の安定を図るとともに医療給付費の適正化を求めていく。	到達目標	・特定健診(人間ドック含む)の更なる受診勧奨、また受診結果に基づく保健指導を強化し平成29年度の特定健診受診率・保健指導実施率の向上に努める。(平成29年度は「特定健康診査等実施計画」平成25年度改正版の目標設定年となる)
----	--	------	---

事業名	国保疾病予防事業	特定健康診査等事業費
(具体的な施策)	◇20年度から各医療保険者に義務付けられた特定健診による生活習慣病の早期発見・早期治療への取り組み ◇更に保健指導等の強化により、重度化の抑止を図り、医療費の削減に結びつける ◇人間ドックの実施 ・40歳以上75歳までの被保険者のうち220人分を予算措置 ◇脳ドックの一部助成を実施 ・博愛病院及び労災病院希望者のうち脳ドックを希望する者に対し、2年に1回、費用の半額を助成 ◇特定健診の結果を踏まえた、保健師等による事後指導及び相談業務の実施 ◇過去3年間特定健診未受診者に対し、その理由を聞き取りするとともに、受診勧奨を実施	◇20年度から各医療保険者に義務付けられた特定健診による生活習慣病の早期発見・早期治療への取り組み ◇更に保健指導等の強化により、重度化の抑止を図り、医療費の適正化につなげる ◇特定健診の結果を踏まえた、保健師等による事後指導及び相談業務の実施 ◇過去3年間特定健診未受診者に対し、その理由を聞き取りするとともに、受診勧奨を実施 ◇尿酸・クレアチニン検査の実施により、腎臓機能障害を早期に発見する

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	需用費、役務費、委託料	6,651	国庫支出金 280 県支出金 280 一般財源 6,091	需用費、役務費、委託料	659	国庫支出金 223 県支出金 223 一般財源 213
(平成28年度) 予算	需用費、役務費、委託料	6,314	国庫支出金 321 県支出金 321 一般財源 5,672	需用費、役務費、委託料	909	国庫支出金 272 県支出金 272 一般財源 365
(平成29年度) 計画	需用費、役務費、委託料	6,314	国庫支出金 321 県支出金 321 一般財源 5,672	需用費、役務費、委託料	909	国庫支出金 272 県支出金 272 一般財源 365
(平成30年度) 計画	※平成30年度国民健康保険新制度導入のため、未定。		※平成30年度国民健康保険新制度導入のため、未定。			

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
3. 社会保険の充実 1)国民健康保険・後期高齢者医療	施策	(P44) ②医療費の適正化	実施期間		継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	健康づくりを推進することにより、国民健康保険制度の健全な運営及び財政基盤の安定化を図り、医療給付費の適正化を進める。	到達目標	・予防対策や健康管理の啓発を進めることにより、医療給付費の適正化につなげる。
事業名	国保保健衛生普及事業		
事業内容 (具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ◇レセプト点検の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ・月2回のレセプト点検を専門員に委託し、過誤・再審査等の点検の充実強化を図り、医療費の適正化に努める ◇医療費分析の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・レセプトの主病を入力して疾病の傾向を把握する ◇重複・多受診者への指導 <ul style="list-style-type: none"> ・保健師と連携して重複・多受診者に対し指導を行う ◇ジェネリック医薬品の利用促進啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の差額通知の発送 ◇病院への適正なかかり方の啓発 		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	賃金、需用費、役務費、委託料	241	一般財源 241
(平成28年度) 予算	賃金、需用費、役務費、委託料	248	一般財源 248
(平成29年度) 計画	賃金、需用費、役務費、委託料	248	一般財源 248
(平成30年度) 計画	※平成30年度国民健康保険新制度導入のため、未定。		

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
3. 社会保険の充実 1) 国民健康保険・後期高齢者医療	施策	(P44) ③ 予防事業の推進	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	予防することを啓発し、健康に対する村民の意識改革を図ることにより、積極的な健康づくりを推進する。 到達目標 ・病気にかからないための健康管理や病気の予防・適正受診の啓発に努める。
事業内容	事業名 国保保健衛生普及事業 (具体的な施策) ◇健診やその後の保健指導時などに予防の重要性をPRする。 ◇各種講習会や教室を広く広報し、参加を促す。 ◇医療費通知の発送 ・年6回

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	役務費・委託料	162	一般財源 162
(平成28年度) 予算	役務費・委託料	176	一般財源 176
(平成29年度) 計画	役務費・委託料	176	一般財源 176
(平成30年度) 計画	※平成30年度国民健康保険新制度導入のため、未定。		

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
3. 社会保険の充実 1) 国民健康保険・後期高齢者医療	施策	(P43) ④運用状況の周知と収納率向上	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	国民健康保険制度の健全な運営(医療給付費の適正な給付・疾病予防・特定健診など)及び財政基盤の安定を図るため、保険事業を推進し、医療給付費の適正化を求める。	到達目標	・医療費の適正化。 ・保険税の収納率の向上(H26年度 93.86%)。
事業名	国保賦課徴収費		
事業内容 (具体的な施策)	国民健康保険制度への理解や認識を深める。 ◇チラシによる広報 ・納税通知書発送時チラシ同封 ◇医療費通知発送 ・医療費の適正化の啓発に努める ◇徴収率の向上 ・徴収ネットによる滞納者へのきめ細かい対応を行う (徴収ネット:滞納の税金や料金の徴収のための村職員による組織)		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	役務費・委託料等	608	一般財源 584 その他 24
(平成28年度) 予算	役務費・委託料等	451	一般財源 427 その他 24
(平成29年度) 計画	役務費・委託料等	451	一般財源 427 その他 24
(平成30年度) 計画	役務費・委託料等	451	一般財源 427 その他 24

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体		()村直営 (○)団体 (○)その他	
3. 社会保険の充実 2) 介護保険	施策	(P45) ①情報提供と制度の円滑実施	実施期間		H12～ 継続	団体等 南部箕蚊屋広域連合

平成28年度実施計画

目的	適切で良質な介護サービス等が受けられるよう情報提供に努める。 また、南部箕蚊屋広域連合との連携により、サービス給付の確保や給付事務の効率化を図り、制度の円滑な実施に努める。	到達目標	・情報提供の充実 ・住環境の改善 ・在宅介護の推進
事業名	高齢者等住宅改良助成事業	介護保険事業	
事業内容 (具体的な施策)	◇介護保険による住宅改修の際、助成限度額200千円を超えた額について、助成する。(上限800千円) (住宅改修1件を見込)	◇南部箕蚊屋広域連合への負担 ・介護給付費・事務費分の負担 ・包括分の負担 ・介護派遣職員給与分の負担	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	扶助費	533	県補助金 266 一般財源 267	負担金、補助金及び交付金	60,681	負担金 3,117 一般財源57,564
(平成28年度)	扶助費	533	県補助金 266 一般財源 267	負担金、補助金及び交付金	61,933	負担金 1,270 一般財源60,663
(平成29年度)	扶助費	533	県補助金 266 一般財源 267	負担金、補助金及び交付金	61,933	負担金 1,270 一般財源60,663
(平成30年度)	扶助費	533	県補助金 266 一般財源 267	負担金、補助金及び交付金	61,933	負担金 1,270 一般財源60,663

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
4. 子育て支援の充実	施策	(P46) ①日吉津版ネウボラの構築	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	母子保健コーディネーターを配置するなど、保健師等の体制を整備し、他機関、他職種と連携を図りながら、妊娠期から出産期、そして子育て期までの切れ目のない支援に取り組み、日吉津版ネウボラの構築を目指します。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日吉津版ネウボラの構築 ・関係団体等とのネットワークの形成
事業名	妊娠・出産包括支援事業		
事業内容 (具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ◇子育てプランや子育て応援プランの作成 ◇母子保健相談支援事業 ◇産前・産後サポート事業 ◇産後ケア事業 		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	報酬、需用費、委託料等	2,142	国県支出金1,873 その他 28 一般財源 241
(平成28年度)	報酬、需用費、委託料等	1,174	国県支出金581 その他 14 一般財源 579
(平成29年度)	報酬、需用費、委託料等	1,174	国県支出金581 その他 14 一般財源 579
(平成30年度)	報酬、需用費、委託料等	1,174	国県支出金581 その他 14 一般財源 579

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
4. 子育て支援の充実	施策	(P46) ②保育所機能の強化	実施期間		継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	<p>◇芝生化した園庭を含め、恵まれた環境を活かして子どもが健やかに成長できるよう保育内容の充実に努める。親の育児不安や支援の必要な子どもに対し適切に対応し、安心して預けられる保育所を目指す。</p> <p>◇新たに開設する小規模保育所2施設の連携施設として、助言・支援を行い、地域全体で子育てをする基盤を築く。また、職員同士の交流・研修等を行うことで、民官が、お互いの保育の質の向上へと繋げる。</p>	到達目標	<p>◇未満児保育では小規模保育所が開設するが、いずれの施設に通う子どもも、すべて日吉津の子どもという認識が定着するよう、主体となって連携を図る。</p> <p>◇3歳以上児の保育の更なる充実を図り、一人ひとりの能力を伸ばし、就学に向けての保小連携をおこなう。</p>
----	--	------	--

事業内容	事業名	保育所運営費
	(具体的な施策)	<p>◇通常保育(平成28年4月1日現在142名)</p> <p>◇ニーズに応じた保育(時間外保育、障がい児保育など)</p> <p>◇家庭支援(発達支援、心理カウンセラー、家庭教育のミニ講演など)</p> <p>◇食育推進(地産食材を取入れた小規模保育所及び小学校との共通献立の実施)</p> <p>◇異年齢保育(3歳以上児、週1日)</p> <p>◇小規模保育所との合同行事の開催</p>

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	報酬、賃金等	46,808	国庫支出金 75 県支出金 1,464 一般財源 45,269
(平成28年度)	報酬、賃金等	54,044	県支出金 100 その他 19,490 一般財源 34,454
(平成29年度)	報酬、賃金等	54,044	県支出金 100 その他 19,490 一般財源 34,454
(平成30年度)	報酬、賃金等	54,044	県支出金 100 その他 19,490 一般財源 34,454

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
4. 子育て支援の充実	施策	(P47) ③地域子ども・子育て支援事業の推進	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	日吉津村子ども・子育て支援事業計画に沿って、地域子ども・子育て支援事業に取り組む。	到達目標	日吉津村子ども・子育て支援事業計画の達成目標に沿う。
----	---	------	----------------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	地域子ども・子育て支援事業
	<ul style="list-style-type: none"> ◇子育て世代包括支援センター「すまいるはぐ」の設置 ◇地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター) ◇ファミリー・サポート・センター事業 ◇子育て短期支援事業 ◇病児・病後児保育事業 ◇利用者支援事業 ◇乳幼児全戸訪問事業 ◇放課後児童健全育成事業(児童館、夏休みひえづっ子クラブ) 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報酬・賃金・需用費・委託料等	23,912	国県支出金 4,673 諸収入 3,103 一般財源 16,136
(平成28年度)	予算	報酬・賃金・需用費・委託料等	23,431	国県支出金 7,837 諸収入 3,814 一般財源 11,780
(平成29年度)	計画	報酬・賃金・需用費・委託料等	23,431	国県支出金 7,837 諸収入 3,814 一般財源 11,780
(平成30年度)	計画	報酬・賃金・需用費・委託料等	23,431	国県支出金 7,837 諸収入 3,814 一般財源 11,780

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
4. 子育て支援の充実	施策	(P47) ④母子の健康の確保及び増進	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	安全にそして安心して生み育てられるように支援するとともに、子どもの発育や成長段階に応じた健康の維持・増進を図る。 また、食育の推進、医療体制の整備などを図りながら、生涯にわたる健康の基礎を築く。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦が安心して出産を迎えられる支援体制の充実 ・子どもの発育や成長段階に応じた健康の維持・増進 ・食育の推進、医療体制の整備
事業内容 (具体的な施策)	事業名	母子保健事業	妊娠・出産包括支援事業
		<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦及び乳幼児の健康診査 ・ブックスタートの充実 ・父親の育児参加の促進や母親の出産前後の心身ケア ・発達障がいに関する知識、理解の普及促進 ・離乳食講習会、乳児・1歳6か月児・2歳児・3歳児・5歳児健診・相談、両親学級、育児学級・おしゃべり広場・プレママ・プレパパのつどい・カルチャー少年塾の料理体験 ・保育所・小学校・中学校・子育て支援センター等との連携 ・乳幼児健診や相談の際など、さまざまな機会でかかりつけ医の定着の啓発 ・とっとり子ども救急ダイヤルの周知、小児救急ハンドブックの配布、夜間等西部地区医療機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健コーディネーターによる支援の実施 ・産前・産後サポート、産後ケア事業等の充実 ・医療、福祉等関係機関との連携や情報共有

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	—	Ⅱ-8に計上	報酬・報償費・需用費等	2,821	国庫支出金 105 一般財源 2,716
(平成28年度)	予算	—	Ⅱ-8に計上	報酬・報償費・需用費等	1,174	国庫支出金 581 負担金 14 一般財源 579
(平成29年度)	計画	—	Ⅱ-8に計上	報酬・報償費・需用費等	1,174	国庫支出金 581 負担金 14 一般財源 579
(平成30年度)	計画	—	Ⅱ-8に計上	報酬・報償費・需用費等	1,174	国庫支出金 581 負担金 14 一般財源 579

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
4. 子育て支援の充実	施策 (P47) ⑤子どもを健やかに育む教育環境の整備		実施期間	継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	子どもたちの個性と無限の可能性を伸ばし、豊かな人間性と生きる力を育むため、学校教育における学習内容の充実と環境整備に努める。学習機会や情報の提供により、次代の親の育成、家庭・地域における教育力の向上を図る。	到達目標	・小学校、保育所、児童館、ヴィステテひえづ、子育て支援センター、自治会、子ども会等と連携を図りながら実施 ・各施設における施設・備品の整備 ・子どもの学習意欲や家庭・地域の教育力の向上
事業内容 (具体的な施策)	事業名 ◇次代の親の育成 ◇家庭や地域の教育力の向上 ◇子育て支援アドバイザーの配置 ◇子育て支援事業等を利用するために必要な支援を行う臨時職員を配置(利用者支援事業)		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		-	Ⅱ-35に計上
(平成28年度) 予算		-	Ⅱ-35に計上
(平成29年度) 計画		-	Ⅱ-35に計上
(平成30年度) 計画		-	Ⅱ-35に計上

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
4. 子育て支援の充実	施策 (P47) ⑥子育てにやさしい村づくり		実施期間	継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	公共施設を中心に、バリアフリー化等、子育て家庭が安心して出かけられ、のびのびと遊べる環境づくりを進める。また、交通安全教室の開催や防犯対策を進めるとともに、万一被害にあった場合の心のケアなどの配慮を行う。	到達目標	各施設におけるハード面、ソフト面、両面からの整備
----	--	------	--------------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	◇子育てに配慮した公共施設の整備 ◇安心して遊べる環境づくり ◇交通安全対策や防犯対策の推進 ◇地域少子化対策強化事業により、『家庭学習の定着』を目指す手引きを全世帯に配布する。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	
(平成28年度)	予算	-	
(平成29年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
4. 子育て支援の充実	施策	(P47) ⑦要保護児童等への対応	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	児童虐待など子どもの心身、生命、人権に関わる問題の早期発見と保護を要する児童への適切な対応を行う。	到達目標	地域の養育力の向上を図り、虐待を生まない地域づくりを推進すると共に、迅速かつ適切な対応を行う。関係機関との定期的な情報交換を元に、虐待の要因となりうる家庭状況を把握し、虐待を未然に防ぐ。
事業名	児童虐待防止ネットワーク事業		
事業内容 (具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ○児童虐待防止対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止キャンペーンへの参加、住民への周知 ・子育て応援講演会の開催 ○要保護児童対策地域協議会の運用 <ul style="list-style-type: none"> ・代表者会1回、実務者会4回、個別ケース会議随時開催 ○児相等関係機関との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・児童相談所連絡会、個別ケースを通じた連携を通し、必要時に迅速に連携できる体制を作る。 		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績 報償費	30	国 15	一般 15
(平成28年度)	予算 報償費	30	国 15	一般 15
(平成29年度)	計画 報償費	30	国 15	一般 15
(平成30年度)	計画 報償費	30	国 15	一般 15

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
4. 子育て支援の充実	施策 (P47) ⑧不妊治療に対する助成		実施期間	継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	高額な治療費がかかる不妊治療費の軽減を図り、経済的負担により子どもを諦めることのないよう支援する。	到達目標	・不妊治療(特定不妊治療・人工授精)とその支援体制について周知徹底
事業名	母子保健事業		
事業内容 (具体的な施策)	◇1回の特定不妊治療につき5万円を上限に通算5年度助成。 ◇特定不妊治療のうち、男性不妊治療を行った場合、上限5万円を上限に助成。 ◇人工授精は1年度につき10万円を上限に通算2年度助成。 ◇事業の実施と周知治療 ◇相談窓口の充実と周知		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		—	Ⅱ-8に計上
(平成28年度) 予算		—	Ⅱ-8に計上
(平成29年度) 計画		—	Ⅱ-8に計上
(平成30年度) 計画		—	Ⅱ-8に計上

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう			
5. 村営住宅・村営霊園 1) 村営住宅	施策	(P48) ①適正な管理	実施主体 (○)村直営 ()団体 ()その他
			実施期間 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	高齢者世帯やひとり親家庭世帯など、住宅に困窮している世帯に対して、良好な住環境を提供するため、適正な管理を行う。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・適正な家賃を設定し、徴収する。 ・必要に応じた住宅修繕を行う。
事業名	村営住宅管理		
事業内容 (具体的な施策)	◇村営住宅の適正な管理 ・住宅修繕 H28年度は住宅の街路灯(全部)の錆止め等の修繕 ・家賃改正(入居者所得等により、毎年度賃料を決定) ・公園、緑地帯の樹木の管理		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	需用費・役務費・委託料・原材料費等	513	村営住宅使用料 513
(平成28年度)	予算	需用費・役務費・委託料等	644	村営住宅使用料 644
(平成29年度)	計画	需用費・役務費・委託料等	511	村営住宅使用料 511
(平成30年度)	計画	需用費・役務費・委託料等	511	村営住宅使用料 511

その他意見等

--

第2章 健康で笑顔のある明るい家庭をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他	
5. 村営住宅・村営霊園 2) 村営霊園	施策 (P48) ①適正な管理 ②新規購入者の増加の推進	実施期間	S53～ 継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	霊園の管理及び使用者の決定。墓石等工作物の適正設置の推進。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・除草及び樹木の維持管理。 ・未使用区画の使用者の確保。 ・墓石等工作物の適正な設置。
----	-------------------------------	------	---

事業名	村営霊園管理事業		
事業内容 (具体的な施策)	◇現在300区画中、206区画使用。(墓地維持管理料:年間2千円、当初納付使用料:500千円) ◇除草及び樹木の維持管理。 ・共有箇所について、(社)米子広域シルバー人材センターに委託。 ◇使用者募集。 ・ホームページによる随時募集。 ◇承継、工作物設置等、使用規則の認識を深める。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 委託料、需用費	278	その他(管理料等)278
(平成28年度)	予算 委託料、需用費、償還金利子及び割引	714	その他(管理料等)714
(平成29年度)	計画 委託料、需用費、償還金利子及び割引	714	その他(管理料等)714
(平成30年度)	計画 委託料、需用費、償還金利子及び割引	714	その他(管理料等)714

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう		実施主体	(○)村直営 (○)団体 ()その他		
1. 農業および農村振興	施策	実施期間	H18～ 継続	団体等	日吉津村地域農 業再生協議会
	(P50) ①多様な農業経営体の育成				

平成28年度実施計画

目的	経営所得安定対策等の円滑な推進により、それぞれの営農志向に応じた多様な農業経営体の育成・支援を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・農業経営基盤の強化 ・経営所得安定対策の推進 ・担い手の経営力の向上 ・小規模農家の営農意欲の向上 	
事業内容 (具体的な施策)	事業名	経営所得安定対策等推進事業・担い手経営力向上事業・小規模農家支援事業		
		<p>【経営所得安定対策等推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農政推進協議会の開催 ・日吉津村地域農業再生協議会が実施する経営所得安定対策等の推進活動に対する助成 (推進活動の内容) ○制度の普及推進活動(広報資料の作成配布等) ○対象作物の生産数量目標の設定ルールの設定 ○産地交付金の要件設定・確認事務 など <p>【担い手経営力向上事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の農業経営の安定・効率化を図るための知識習得機会の提供 農業経営セミナーの開催や専門家による経営指導 <p>【小規模農家支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模農家の営農意欲の維持・増進を図るための奨励金の交付 農産物直売施設への出荷・販売実績が基準未滿の農家に対し、一定割合の奨励金を交付 		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報償費 負担金補助及び交付金	2,239	県補助金 2,239
(平成28年度)	予算	報償費 負担金補助及び交付金	2,768	県補助金 2,241 一般財源 527
(平成29年度)	計画	報償費 負担金補助及び交付金	2,768	県補助金 2,241 一般財源 527
(平成30年度)	計画	報償費 負担金補助及び交付金	2,768	県補助金 2,241 一般財源 527

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
1. 農業および農村振興	施策	(P50) ①多様な農業経営体の育成	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	将来にわたり持続可能な営農環境を維持していくため、地域において中心となる農業経営体の育成・支援を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・経営規模の拡大 ・中心的な経営体への農地集積
事業内容	事業名 規模拡大農業者支援事業・人・農地問題解決加速化支援事業・農地中間管理事業・機構集積協力金事業 (具体的な施策) 【規模拡大農業者支援事業】 ・認定農業者等が農業経営基盤強化促進法に基づき規模拡大を図る場合の経費助成 3年以上の賃貸借 8,000円/10a(初年度のみ) 【人・農地問題解決加速化支援事業】 ・「人・農地プラン」の見直し 地域の中心となる経営体、新規就農者の位置付け・農地集積等に関する計画 【農地中間管理事業】 ・担い手への農地集積・集約化を加速するため、農地中間管理機構と連携し、農地の出し手と受け手との間の利用調整等を行う。 【機構集積協力金事業】 ・機構集積協力金 農地中間管理機構が行う農地集積の取組みに協力する者に対する助成		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 報償費 負担金補助及び交付金 需用費 役務費	1,169	県補助金 1,064 一般財源 105
(平成28年度)	予算 報償費 負担金補助及び交付金 需用費 役務費	2,165	県補助金 1,012 諸収入 1,000 一般財源 153
(平成29年度)	計画 報償費 負担金補助及び交付金 需用費 役務費	2,165	県補助金 1,012 諸収入 1,000 一般財源 153
(平成30年度)	計画 報償費 負担金補助及び交付金 需用費 役務費	2,165	県補助金 1,012 諸収入 1,000 一般財源 153

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
1. 農業および農村振興	施策	(P50)	実施期間	H18~ 継続	団体等	
		②新規就農者(農業後継者)の確保				

平成28年度実施計画

目的	<p>青年層を中心に独立・自営就農を促進するとともに、認定新規就農者の営農定着を支援することにより、農業後継者の確保を目指す。</p>	到達目標	<p>・新規就農者(農業後継者)の増 ・認定新規就農者の営農定着</p>	
事業内容 (具体的な施策)	事業名	新規就農・経営継承総合支援事業・就農条件整備事業		
	<p>【新規就農・経営継承総合支援事業】 ・青年就農交付金(経営開始型) 原則45歳未満で独立・自営就農する者に対し、最長5年間(150万円/年)を交付 【就農条件整備事業】 ・認定新規就農者が行う機械・施設等の整備に係る費用について、1/2を助成 ◇その他農業後継者確保に向けた取組み ・就農相談</p>			

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	負担金補助及び交付金	7,229	県補助金 5,819 一般財源 1,410
(平成28年度)	予算	報償費 使用料及び賃借料 負担金補助及び交付金	5,929	県補助金 4,952 一般財源 977
(平成29年度)	計画	報償費 使用料及び賃借料 負担金補助及び交付金	3,000	県補助金 3,000
(平成30年度)	計画	報償費 使用料及び賃借料 負担金補助及び交付金	3,000	県補助金 3,000

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体		()村直営 (○)団体 (○)その他	
1. 農業および農村振興	施策	(P50) ③村のシンボル・チューリップの維持	実施期間		H18～ 継続	団体等 日吉津村チューリップ友の会等関係機関と連携

平成28年度実施計画

目的	村のシンボル、また貴重な観光資源でもある「チューリップ」の重要性を再認識し、業としての生産振興ではなく、委託栽培により、その維持を図る。	到達目標	・新規生産者の確保
----	--	------	-----------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	その他農業振興事業 【その他農業振興事業】 ・生産者団体への栽培委託(25a)
------------------	-----	---

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	委託料	1,740	一般財源 1,740
(平成28年度)	予算	委託料	2,300	一般財源 2,300
(平成29年度)	計画	委託料	2,300	一般財源 2,300
(平成30年度)	計画	委託料	2,300	一般財源 2,300

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体	()村直営 (○)団体 (○)その他		
1. 農業および農村振興	施策	(P51) ④特産品目の振興	実施期間	継続	団体等	JA白ねぎ生産部等関係機関と連携

平成28年度実施計画

目的	県の特産品、また地域振興作物である白ねぎ、ブロッコリーの生産性向上等の取組みを支援することにより、生産振興、産地力の強化を図る。	到達目標	・地域振興作物の生産拡大
----	--	------	--------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	その他農業振興事業・がんばる地域プラン事業
		<p>【その他農業振興事業】</p> <p>◇生産振興の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産助成(団地加算金)の継続 ※「⑤需要に応じた生産調整(転作)の維持」参照 ・特定野菜(ブロッコリー)の出荷価格下落に対する補填 ・利用権設定による農地集積に係る情報提供 <p>【がんばる地域プラン事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取西部農協が策定した白ねぎ、ブロッコリーに係る広域的な振興計画に基づき事業を行う者に対する助成ソフト事業(土壌改良・新技術実証等) 補助率:2/3

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 負担金補助及び交付金	248	一般財源 248
(平成28年度)	予算 負担金補助及び交付金	80	一般財源 80
(平成29年度)	計画 負担金補助及び交付金	80	一般財源 80
(平成30年度)	計画 負担金補助及び交付金	80	一般財源 80

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体	()村直営 (○)団体 (○)その他		
1. 農業および農村振興	施策	(P51) ⑤需要に応じた生産調整(転作)の推進	実施期間	H18～ 継続	団体等	農事組合法人ひえづ 等関係機関と連携

平成28年度実施計画

目的	ブロックローテーション方式による米の生産調整(転作)の円滑な実施と、作物の団地化による農作業及び用排水管理の効率化を図る。	到達目標	・米の生産調整の見直しに伴う、ブロックローテーションの在り方等の見直し
----	---	------	-------------------------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	転作奨励単独事業
	【転作奨励単独事業】 ・転作指定ブロック内での指定作物の作付に対し、団地加算金を交付 戦略作物 4,800円/10a そば・なたね 4,800円/10a 地域振興作物 4,800円/10a 地力増進作物 3,000円/10a その他野菜等 3,000円/10a ※ 戦略作物=麦・大豆・飼料作物・飼料用米 地域振興作物=白ねぎ・ブロッコリー・球根	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	負担金補助及び交付金	1,862	一般財源 1,862
(平成28年度) 予算	負担金補助及び交付金	2,250	一般財源 2,250
(平成29年度) 計画	負担金補助及び交付金	2,250	一般財源 2,250
(平成30年度) 計画	負担金補助及び交付金	2,250	一般財源 2,250

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ()その他		
1. 農業および農村振興	施策	(P51) ⑥荒廃農地の解消	実施期間	H18～ 継続	団体等	日吉津村地域農業再生協議会

平成28年度実施計画

目的	生産基盤である農地を最大限確保するため、耕作放棄地の解消と有効利用を図る。	到達目標	・耕作放棄地の解消と新たな発生の防止
----	---------------------------------------	------	--------------------

事業内容	事業名 ◇耕作放棄地の解消と発生防止に向けた取組み ・農地巡回活動、所有者への指導・啓発(農業委員会) ・地域農業再生協議会における耕作放棄地解消の取組み ・新たな農業・農村政策により取り組む (農地中間管理機構・日本型直接支払制度) ・担い手、新規就農者への土地利用集積 ・人・農地プランの見直し
------	--

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成28年度	予算	-	
(平成29年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体		()村直営 (○)団体 (○)その他	
1. 農業および農村振興	施策	(P51) ⑦多面的機能支払の推進	実施期間	H27～ 継続	団体等	富吉地域資源保全会

平成28年度実施計画

目的	農村地域の過疎化、高齢化、人口減少等により農地集積が進み、水路・農道等の管理に係る負担が担い手農家に集中している。このような中、国・県・市町村が水路・農道等を保全・補修する地域の共同活動を支援し、農業農村の多面的機能の維持・発揮及び担い手農家の負担軽減を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の拡充 ・活動区域の拡大 ・活動組織の増加 ・活動組織の広域化による体制強化
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	多面的機能発揮促進事業				
		<ul style="list-style-type: none"> ◇既活動組織の活動内容の拡充、区域の拡大への支援 ◇新規活動組織の組織化への支援 ◇活動組織広域化への支援 				

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	負担金補助及び交付金、報酬	669	国・県交付金 539 一般財源 130
(平成28年度)	予算	負担金補助及び交付金、報酬	1,085	国・県交付金 850 一般財源 235
(平成29年度)	計画	負担金補助及び交付金、報酬	1,085	国・県交付金 850 一般財源 235
(平成30年度)	計画	負担金補助及び交付金、報酬	1,085	国・県交付金 850 一般財源 235

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 観光・村の魅力おこし	施策	(P51) ①広域的な観光振興	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	地域に点在する観光資源を、隣県を含めた広域的連携により、共通する課題を解消し、面的に一層魅力のある地域の観光振興を図る。	到達目標	・広域連携の強化
----	--	------	----------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	◇広域連携による観光振興、魅力ある地域づくりの推進 ・鳥取県観光連盟における取組み ・大山山麗観光推進協議会における取組み (エコツーリズムの推進及びメニュー、鳥取県西部版DMOの取組み) ・大山パークウェイ協議会における取組み ・西部地域振興協議会における取組み (「伯耆国大山開山1300年祭」の取組み)	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	負担金	590	国交付金 396 一般財源 194
(平成28年度) 予算	負担金	1,726	国交付金 1,532 一般財源 194
(平成29年度) 計画	負担金	194	一般財源 194
(平成30年度) 計画	負担金	194	一般財源 194

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
2. 観光・村の魅力おこし	施策	(P52) ②既存施設等の魅力向上	実施期間		継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	観光資源の乏しい本村において、既存の施設等の利便性の向上などにより、地域の魅力をPRする。	到達目標	・既存観光資源の魅力向上
----	---	------	--------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名			
	◇地域の魅力向上の取組み ・観光関連団体のHP、パンフレット等へのPR記事掲載			

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績		—	
(平成28年度)	予算		—	
(平成29年度)	計画		—	
(平成30年度)	計画		—	

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
3. 商工業の振興	施策	(P52) ①既存事業所の経営安定及び新規創業の支援	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	商工会と連携し、制度融資等を行うことによって、景気の動向に左右されやすい中小事業所の経営を支援する。	到達目標	・中小事業所の経営安定及び福利厚生 の増進
----	--	------	-----------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	◇商工会と連携した事業所等の経営支援の取組み ・中小企業小口融資 ・小規模事業者経営改善貸付資金利子助成 ・勤労者福祉サービスセンター会費補助 ・セーフティネット制度保証認定	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	負担金補助及び交付金 貸付金	1,964	諸収入 1,690 一般財源 274
(平成28年度)	予算	負担金補助及び交付金 貸付金	6,366	諸収入 5,103 一般財源 1,263
(平成29年度)	計画	負担金補助及び交付金 貸付金	6,366	諸収入 5,103 一般財源 1,263
(平成30年度)	計画	負担金補助及び交付金 貸付金	6,366	諸収入 5,103 一般財源 1,263

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
3. 商工業の振興	施策	(P52) ②商工会組織の活動支援と連携強化	実施期間	S53~ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	企業等に対する支援・指導を行うことにより、地域経済の活性化並びに企業等と地域の繋がりを深める。	到達目標	・現状維持
----	---	------	-------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	◇商工会組織の運営支援と連携強化 ・米子日吉津商工会運営費補助 ・意見交換会の開催	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	負担金補助及び交付金	1,000	一般財源 1,000
(平成28年度)	予算	負担金補助及び交付金	1,000	一般財源 1,000
(平成29年度)	計画	負担金補助及び交付金	1,000	一般財源 1,000
(平成30年度)	計画	負担金補助及び交付金	1,000	一般財源 1,000

その他意見等

--

第3章 仕事を愛し情熱とほこりをもって働こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
3. 商工業の振興	施策	(P52) ③異業種間の連携推進	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	異なる業種の事業者が産業の垣根を越え、それぞれの経営資源等を活用しながら、相互に発展を図る。	到達目標	・農商工金融連携の推進
----	--	------	-------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	◇農商工金融連携の推進に向けた取組み ・意見交換会の開催 (・農の6次産業化支援)	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		—	
(平成28年度) 予算		—	
(平成29年度) 計画		—	
(平成30年度) 計画		—	

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
1. 土地利用計画の推進	施策	(P54) ①土地利用計画の実現 ②快適な住環境整備	実施期間	H16～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	将来に向けての土地の有効な利用方法、次の世代に引き継ぐ本村の姿はどうあるべきかを、村民・行政が協働して策定した「土地利用計画」の実現に努める。	到達目標	・土地利用計画の内容をを反映した米子境港都市計画区域マスタープランの見直しが平成26年度に完了した。土地利用計画の実現に向けて、関係機関との協議、調整を行う。
----	---	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	◇地区計画の推進 ◇国道431号沿道及び周辺のまちづくりの検討 ◇集落地域整備法の規定する集落地域の変更(イオン駐車場増設全体計画区域) ◇都市公園の都市計画決定区域の変更及び事業認可の変更(区域縮小)	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 報酬、旅費、需用費、負担金	116	一般財源 116
(平成28年度)	予算 報酬、旅費、需用費、委託料、負担金	2,419	一般財源 2,419
(平成29年度)	計画 報酬、旅費、需用費、負担金	300	一般財源 116
(平成30年度)	計画 報酬、旅費、需用費、負担金	300	一般財源 116

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他	
2. 公園の運営・整備	施 策	(P54) ①親しまれる公園づくり (日野川河川敷運動公園)	実施期間	継続 公園 S61、河川 敷H4～ 団体等

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの振興、仲間同士の親睦を深める。 ・村民のための、体力づくりの場を提供する。 ・日野川水系漁協主催「鮭の学習会」への施設提供。 ・日吉津村で花見のできる場所をつくる。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・河川敷広場という恵まれた立地を生かし、村内外からの利用者を受け入れる。 ・水辺の楽校に存在する動植物の生態に触れ、実践的な体験学習の役割を果たす。 ・景観の良さをいかした桜堤の整備をすすめて、利用者を楽しんでもらう。
----	---	------	---

事業名	河川敷運動公園管理事業		
事業内容 (具体的な施策)	<p>【公園の利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村外からも、学校行事などの受け入れを増やしていく。 ・幅広い年齢層の方が立ち寄りやすい環境を整える。 <p>【親しまれる公園づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> サッカー、野球グラウンド・・・スポーツ振興、各種団体の健康維持、交流の場づくりに取り組む。 水辺の楽校・・・動植物の観察、レクリエーション、体験学習、その他の活用方法の模索。 桜堤・・・花見、ウォーキング、散策等を楽しむ場所を提供するための整備。 		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	賃金・需用費等	1,107	一般財源 821 雑入 286
(平成28年度) 予算	賃金・需用費等	2,450	一般財源 2,129 雑入 321
(平成29年度) 計画	賃金・需用費等	2,450	一般財源 2,129 雑入 321
(平成30年度) 計画	賃金・需用費等	2,450	一般財源 2,129 雑入 321

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他	
2. 公園の運営・整備	施 策 (P54) ①親しまれる公園づくり (日吉津村海浜運動公園)	実施期間	継続 公園 S61、河川 敷H4~	団体等

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場での体験学習、運動広場を使つての健康促進などに幅広く利用してもらう。 ・村民の憩いの場としての役割を果たす。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「火をおこす」「食材を切り調理する」などの体験を通じ、仲間との思い出づくりや、防災意識を育くむきっかけを作る。 ・公園の利用促進を図り、親しまれる公園づくりを目指す。
----	---	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	海浜運動公園管理
	【公園の利用促進】	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外からの利用客を呼び込むために、さらなる広報が必要。 ・幅広い年齢層の方が立ち寄りやすい環境づくり、行事などを実施する。 【親しまれる公園づくり】 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ、レクリエーション、体験学習など多目的な利用ができることを広報していく。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	賃金・需用費等	10,550	一般財源 5,549 雑入 341 使用料 4,660
(平成28年度) 予算	賃金・需用費等	10,523	一般財源 5,219 雑入 391 使用料 4,913
(平成29年度) 計画	賃金・需用費等	10,523	一般財源 5,219 雑入 391 使用料 4,913
(平成30年度) 計画	賃金・需用費等	10,523	一般財源 5,219 雑入 391 使用料 4,913

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
2. 公園の運営・整備	施 策	(P55) ②地域活性化を目指した施設利用 (日吉津村海浜運動公園)	実施期間	継続 公園 S61、河川 敷H4～	団体等	

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> 「県外からの集客もできる施設」という利点を生かし、地域の活性化を目指す。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 利用促進に努め、使用料増に取り組む。周辺地域への経済効果も期待できることから、村内の観光、物産なども同時に案内する。(パンフレット、ポスターの掲示など)
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	海浜運動公園管理
		<ul style="list-style-type: none"> 【村内・県外者への利用促進】 ・ホームページの充実。 【広報活動の充実】 ・ホームページや村報、新聞特集記事などを利用したの広報。 【アウトドアレクリエーションの拠点づくり】 ・村事業、子ども会行事など幅広い利用を目指す。

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	IV-3に計上
(平成28年度)	予算	-	IV-3に計上
(平成29年度)	計画	-	IV-3に計上
(平成30年度)	計画	-	IV-3に計上

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他	
2. 公園の運営・整備	施 策 (P55) ③適正な管理運営 (日吉津村海浜運動公園)	実施期間	継続 公園 S61、河川 敷H4～	団体等

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化した施設を、必要により修繕し、適正な管理運営に努める。 節電を徹底し光熱水費の削減に努める。 照明器具を、段階的にLEDに切り替えていく。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場内の危険箇所の点検、修繕を実施し、安全な施設運営を行う。 県基準の温度設定に合わせ、節電・節水のお願いを掲示する。
----	---	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	海浜運動公園管理
	【施設の適正管理】 ・誰もが安全に施設利用することができるよう、適正な維持管理に努める。 【管理運営体制の見直し、検討】 ・現在4名の管理人で申込受付や維持管理を行っているが、将来的には指定管理者制度への移行も検討していく。 ・効率の良い管理人の配置、勤務体制を整える。利用のない時期は定休日を設け、人件費を削減する。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		-	IV-3に計上
(平成28年度) 予算		-	IV-3に計上
(平成29年度) 計画		-	IV-3に計上
(平成30年度) 計画		-	IV-3に計上

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
3. 道路の維持・整備	施策	(P55) ①主要幹線道路の改良等	実施期間		H22～ H23年度	団体等

平成28年度実施計画

目的	主要幹線道路の改良を行い、より便利な幹線道路を目指す。	到達目標	主要幹線道路を便利で快適な道路に改良する。
----	-----------------------------	------	-----------------------

事業内容	(具体的な施策)	事業名 平成23年度に村道温泉線道路改良工事を実施したが、今年度の主要幹線道路の改良工事について、実施の予定はない。
------	----------	---

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	
(平成28年度)	予算	-	
(平成29年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
3. 道路の維持・整備	施策	(P55) ②生活道路の修繕と歩行者等保護				

平成28年度実施計画

目的	道路の適正な維持管理を行い、運転者や歩行者の安全を確保する。	到達目標	生活道路の安全確保

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	<ul style="list-style-type: none"> ・村道安全施設工事 ・村道修繕工事 ・村道5号線側溝蓋掛工事 ・村道橋梁補修工事 ・橋梁補修設計業務、橋梁点検 ・村道植栽等維持管理業務委託 ・除雪委託 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	需用費、委託料、工事請負費	14,871	県支出金 56 国費2,791 一般財源12,024
(平成28年度) 予算	需用費、委託料、工事請負費	27,495	県支出金 448 国費7,260 村債2,100 一般財源17,687
(平成29年度) 計画	需用費、委託料、工事請負費	9,000	県支出金 200 一般財源8,800
(平成30年度) 計画	需用費、委託料、工事請負費	9,000	県支出金 200 一般財源8,800

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
4. 下水道の維持・普及	施 策	(P55) ①全戸加入の推進		実施期間	継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	公共用水域の水質保全、環境衛生推進等のため、水洗化の普及に努める。	到達目標	処理区域内の全世帯水洗化

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	全世帯水洗化に向けて、下水道未接続世帯の未接続要因の確認を行う。 ・アンケート調査を行う。未回答の場合、臨宅により、該当者から直接意向確認する。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		-	
(平成28年度) 予算		-	
(平成29年度) 計画		-	
(平成30年度) 計画		-	

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
4. 下水道の維持・普及	施 策	(P56) ②施設維持と費用の節減	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備を適正に管理し、施設機能の維持を図る。 下水汚泥からコンポスト「西伯みのりの素」をつくり、普及に努める。 下水道管を新規に布設する。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕等を計画的に進め、施設機能の維持を図る。 「西伯みのりの素」の販売を昨年並みに行う。 下水道管の未布設区域の解消を図る。

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	<ul style="list-style-type: none"> ◇施設の修繕等を行い、施設の機能維持を行う。 ◇コンポスト「西伯みのりの素」の製造・普及を行う。 ◇公共下水道14号線新設事業(管路布設) 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	需用費・役務費・委託料 工事請負費・備品購入費・負担金	117,859	使用料 51,529 負担金 3,027 国費 32,903 起債 30,400
(平成28年度)	予算	需用費・役務費・委託料・賃借料 工事請負費・備品購入費・負担金	92,542	使用料 56,354 負担金 2,188 国費 17,000 村債 17,000
(平成29年度)	計画	需用費・役務費・委託料・賃借料 工事請負費・負担金	57,931	使用料 56,309 負担金 1,622
(平成30年度)	計画	需用費・役務費・委託料・賃借料 工事請負費・負担金	57,931	使用料 56,309 負担金 1,622

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
5. 廃棄物処理・リサイクル	施 策	(P58) ①分別収集の推進				

平成28年度実施計画

目的	分別方法を検討し、資源ごみの分別の充実を図る。 「ごみの分け方」の浸透を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・分別品目、分別方法の検討及び実施。 ・分別方法のPR、推進。 * 以下、環境基本計画28年度末目標(主な数値) ・一人当たりのごみ排出量削減。(1日あたり623グラム・5%減) ・リサイクル率の向上(50%→55%)
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	塵芥処理事業
	<ul style="list-style-type: none"> ◇分別品目、分別方法の検討及び実施 ・ごみ問題を考える検討委員会で、処理の方策について検討し方針をまとめる。 ・検討した結果を各自治会に周知し、実施していく。 ・ごみの説明会を自治会ごとに実施。 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	需用費、役務費、委託料、負担金など	34,132	県支出金 451 手数料 5,677 一般財源 28,004
(平成28年度)	予算	需用費、役務費、委託料、負担金など	34,373	県支出金 450 手数料 16,059 一般財源 17,864
(平成29年度)	計画	需用費、役務費、委託料、負担金など	34,373	県支出金 450 手数料 16,059 一般財源 17,864
(平成30年度)	計画	需用費、役務費、委託料、負担金など	34,373	県支出金 450 手数料 16,059 一般財源 17,864

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
5. 廃棄物処理・リサイクル	施 策	(P58) ②ゴミの減量化の推進				

平成28年度実施計画

目的	生ゴミの分別処理を中心に、減量化の方策を検証し、ゴミを減らす対策を講じる。 4R(リフューズ・リユース・リデュース・リサイクル)を周知し、意識の高揚を図るとともに、小型家電リサイクルを推進する。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・電気式生ゴミ処理機購入助成の推進。 ・コンポスト購入助成の推進。 ・試用生ゴミ処理機の貸し出し。 ・広報によるゴミ処理量や4Rの周知。 ・4R街頭キャンペーンの実施。 ・小型家電リサイクル拠点回収の実施。
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	し尿・ごみ減量化・不法投棄ゴミ対策事業
	(廃棄物処理事業) ◇生ごみの水切りの徹底を図る。 ◇生ゴミ処理機購入助成の推進 (広報紙、HPによる周知) ◇コンポスト購入助成の推進 (広報紙、HPによる周知) ◇試用生ゴミ処理機の貸し出し (HPによる周知) ◇広報によるゴミ処理量や4Rの周知 ◇4R(リフューズ・リユース・リデュース・リサイクル)を周知・意識の高揚を図るとともに、庁舎内に設置した小型家電リサイクルボックスで小型家電リサイクルを推進する。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 委託料、備品購入費、補助金	176	県支出金 10 一般財源166
(平成28年度)	予算 委託料、補助金	202	一般財源202
(平成29年度)	計画 委託料、補助金	202	一般財源202
(平成30年度)	計画 委託料、補助金	202	一般財源202

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
5. 廃棄物処理・リサイクル	施 策	(P58) ③不法投棄の防止	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	不法投棄が頻発する日野川河川敷及び海岸線を重点に随時パトロールを行い不法投棄の防止を講ずる。 ごみのポイ捨て等禁止条例に基づき、海岸を中心に看板を設置し、啓発を行うことで、ポイ捨て等のないクリーンな村づくりを進める。	到達目標	・不法投棄の防止。 ・ごみのない美しい村づくり。
----	---	------	-----------------------------

事業名	し尿・ごみ減量化・不法投棄ごみ対策事業		
事業内容 (具体的な施策)	◇公用車等に不法投棄防止用マグネットシートを貼り、パトロール及び啓発を行う ◇村のポイ捨て等禁止条例に基づき、啓発及び指導等を行うことで、不法投棄の防止やポイ捨て等禁止のマナー向上を図る。 ◇県の廃棄物適正処理指導員等による重点地域のパトロール		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	需用費、役務費	59	一般財源 59
(平成28年度) 予算	需用費、役務費	122	一般財源122
(平成29年度) 計画	需用費、役務費	122	一般財源122
(平成30年度) 計画	需用費、役務費	122	一般財源122

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
6. 環境にやさしい暮らし	施 策	(P59) ①環境問題への関心				

平成28年度実施計画

目的	地球にやさしい生活実現に向け、様々な啓発活動を実施する。 温室効果ガスの削減などを目的とした住宅用太陽光発電システム・家庭用燃料電池の補助事業の実施する。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・村広報紙、CATVなど広報媒体を活用した啓発活動による環境意識の向上。 ・レジ袋辞退者の増加。 ・子どもエコクラブ(小学校)の活動支援。 ・再生可能エネルギーの導入拡大。
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	住宅用太陽光発電システム等導入支援事業
		<ul style="list-style-type: none"> ◇村広報紙、CATVなどの広報媒体を活用した啓発活動 ◇ノーレジ袋運動の推進 ◇子どもエコクラブ(小学校)による環境教育活動の支援。 ◇日吉津村住宅用太陽光発電システム導入経費支援補助金を交付し、再生可能エネルギーの導入拡大を図る。 ◇日吉津村家庭用燃料電池導入支援補助金を交付し、高効率エネルギーの導入拡大を図る。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	負担金補助及び交付金	1,337	県支出金 601・一般財源 736
(平成28年度)	予算	負担金補助及び交付金	4,180	県支出金1,890・一般財源2,290
(平成29年度)	計画	負担金補助及び交付金	4,180	県支出金1,890・一般財源2,290
(平成30年度)	計画	負担金補助及び交付金	4,180	県支出金1,890・一般財源2,290

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
6. 環境にやさしい暮らし	施 策	(P59) ②野外焼却禁止		実施期間	H18～ 継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	野外焼却に対する苦情が数件寄せられているため、野外焼却件数を減少させる。 ダイオキシン対策や苦情の無い環境を確立するため、啓発活動や現地指導を実施する。	到達目標	・広報媒体による啓発活動。 ・苦情に対する現地指導により、野外焼却防止を図る。

事業内容 (具体的な施策)	事業名	公害対策事業
	◇広報媒体による啓発活動 ・村広報紙、CATV、防災無線等を活用し啓発を行う ◇苦情に対する現地指導 ・現地調査、現地確認を通じ、改善指導を行う	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	
(平成28年度)	予算	-	
(平成29年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	<input type="checkbox"/> 村直営 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		
6. 環境にやさしい暮らし	施 策	(P59) ③環境美化の推進		実施期間	H11～ 継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	清掃活動を通じ、環境問題への関心を高める。クリーンな日吉津海岸を取り戻す。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 生活に身近な海岸や河川敷の清掃活動を通じ、環境問題への関心を醸生し、環境保護のための実践活動につなげる。 海岸クリーン作戦の実施。(年3回)
	事業名		塵芥処理事業

事業内容 (具体的な施策)	事業名	塵芥処理事業
	◇海岸クリーン作戦 ・チューリップマラソン実施前と夏休み終了時に加え、夏休み直前に海岸を中心としたクリーン作戦を実施。(計3回) ・夏休み直前は利用客へ向けたPR活動も併せて行う。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		-	IV-10に計上
(平成28年度) 予算		-	IV-10に計上
(平成29年度) 計画		-	IV-10に計上
(平成30年度) 計画		-	IV-10に計上

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
6. 環境にやさしい暮らし	施 策	(P59) ④行政機関の取り組み	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減するため公共施設の省エネルギー化を図る。	到達目標	・既存施設のエネルギー使用量の維持・削減及び省エネルギー設備への更新
----	--	------	------------------------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	公共施設関係省エネルギー化事業
		<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の照明をLED等の省エネルギー照明に更新する(防犯灯等の設備を含む。) ・10年以上経過した公用車の更新検討。 ・職員による省エネ取り組みを継続(昼休憩時等でのこまめな消灯等。) ・各施設の電気使用量の監視。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 借上料、工事請負費、設計監理委託料	49,183	繰入金 1,100 雑入 34,663 一般財源 13,420
(平成28年度)	予算 借上料、工事請負費	14,153	繰入金 1,100 一般財源 13,053
(平成29年度)	計画 借上料、工事請負費	14,153	繰入金 1,100 一般財源 13,053
(平成30年度)	計画 借上料、工事請負費	14,153	繰入金 1,100 一般財源 13,053

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
6. 環境にやさしい暮らし	施 策	(P59) ⑤日吉津村環境基本計画の推進	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	日吉津村環境基本条例(平成23年4月施行)に基づき策定された「環境基本計画(H24~H28)」に基づき、目標の達成のため、各種の施策に取り組む。	到達目標	日吉津村環境基本計画を村民に広く周知し、行政のみならず、村民・地域コミュニティ・事業者等が協働して、計画に記された目標の達成に向けた取り組みを行なう。
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	環境衛生一般事業
	◇パンフレットを配布し、周知・啓発を図る。 ◇「環境の日(6月5日)」に環境を考えるイベントを行う。 ◇環境審議会に年次報告を行う。 ◇村長から村民に公表、報告。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 報償費、需用費	37	一般財源37
(平成28年度)	予算 報償費、需用費	60	一般財源60
(平成29年度)	計画 報償費、需用費	60	一般財源60
(平成30年度)	計画 報償費、需用費	60	一般財源60

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
7. 公害の防止	施 策	(P61) ①環境保全協定の監視・指導	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	環境保全協定を交わしている王子製紙及びイオンリテールに対し、基準が遵守されているか定期的な測定により監視する。	到達目標	・協定項目の定期測定(王子製紙、イオンリテール)及び協定内結果の維持・確認。
----	---	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	公害対策事業
	◇協定項目の定期測定 ・王子製紙 悪臭検査、騒音検査、硫酸化物測定、降下ばいじん測定(毎月) 排水水質検査(2ヶ月に1回) 排水臭気検査、ばい煙測定(年2回) ・イオン 浄化槽排水水質検査(年3回)	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	委託料等	1,499	一般財源1,499
(平成28年度) 予算	委託料等	1,635	一般財源1,635
(平成29年度) 計画	委託料等	1,635	一般財源1,635
(平成30年度) 計画	委託料等	1,635	一般財源1,635

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他	
7. 公害の防止	施 策	(P61) ②その他の苦情への指導	実施期間	H18～ 継続 団体等

平成28年度実施計画

目的	法律等に基づく明確な基準の無い苦情や、基準は有るが基準値以下の苦情に対して、現状を把握し、自治会や他団体の協力を得ながら和解できる対策を講じる。	到達目標	・苦情に対する調査等・対策。
----	--	------	----------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	◇苦情解決 ・苦情の内容の把握、現地指導等を経て、関係機関との調整・解消に向けた対策・対応を講ずる。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	
(平成28年度)	予算	-	
(平成29年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	()村直営 (○)団体 (○)その他		
8. 消防・防災体制と国民保護	施策	(P61) ①地域防災計画の具現化とマニュアルづくり	実施期間	H18～継続	団体等	各自治会自主防災組織

平成28年度実施計画

目的	災害時に住民が自分の役割を認識し、行政と連携して迅速な対応ができるような体制を作ること。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時(震災・風水害・火災)に実効性のある対応が迅速にとれるようマニュアルを作成する。 ・災害時における被害を最小限に食い止める。
事業内容	事業名 災害対策費 ◇住民避難マニュアルの作成 ・各自治会のマニュアル作成、役員会、意見交換会等を実施する。 ・住民避難マニュアルを受けて適宜「地域防災計画」の見直しを図る。 ◇住宅耐震化促進計画の取組み ・耐震化計画に基づき耐震診断を実施し、建築物の耐震化を進める。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	報酬、委託料、使用料及び賃借料	371	一般財源	371
(平成28年度)	予算	報酬、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金	368	国県支出金	55
				一般財源	313
(平成29年度)	計画	報酬、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金	368	国県支出金	55
				一般財源	313
(平成30年度)	計画	報酬、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金	368	国県支出金	55
				一般財源	313

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
8. 消防・防災体制と国民保護	施 策	(P61) ②災害に備える体制の整備	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における避難所の体制について、充実・整備を図る。 ・災害時の情報伝達の整備を図る。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄倉庫等の保管場所の確保と、備蓄品等の充実を図る。 ・防災行政無線の維持・管理を行う。
----	--	------	--

事業名	防災無線、災害対策費	
事業内容 (具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ◇物資等の備蓄と保管場所の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・非常用の食料、生活必需品などの物資や防災資機材の備蓄と保管場所の確保に努める。 ◇防災訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・住民避難マニュアルと地域防災計画等の整合性を図り、防災意識の向上を図る。 ◇防災行政無線の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線を常に良好な状態に保つための保守を行う。 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	需用費、役務費、備品購入費、工事請負費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金、通信運搬費	6,930	国県支出金 一般財源	2,035 4,895
(平成28年度)	予算	需用費、役務費、備品購入費、工事請負費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金、消耗品費、通信運搬費	8,296	国県支出金 一般財源	1,091 7,205
(平成29年度)	計画	需用費、役務費、備品購入費、工事請負費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金、消耗品費、通信運搬費	5,533	国県支出金 一般財源	1,091 4,442
(平成30年度)	計画	需用費、役務費、備品購入費、工事請負費、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金、消耗品費、通信運搬費	5,533	国県支出金 一般財源	1,091 4,442

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ()その他		
8. 消防・防災体制と国民保護	施 策	(P61) ③自主防災組織の育成		実施期間	H18～ 継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	火災発生時の初期対応の要として、自主防災組織の育成を図る。 また、防災訓練を実施し、火災発生時の対応の実効性を高める。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会で、自主防災組織の組織化を図る。 各自治会で、消火訓練等を実施する。(村消防団、西部広域消防局) 村防災訓練を実施し、各自治会での防災の取組みについて検証する。
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	非常備消防費
	<ul style="list-style-type: none"> ◇自治会、自主防災組織への情報提供 ◇消火訓練の実施 ◇資材の提供(消火栓用ホース、格納箱等) ◇各消火栓の点検(立上り式、地下式) ◇村防災訓練(10/2) 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	消耗品費、備品購入費	295	一般財源	295
(平成28年度)	予算	消耗品費、備品購入費	420	一般財源	420
(平成29年度)	計画	消耗品費、備品購入費	420	一般財源	420
(平成30年度)	計画	消耗品費、備品購入費	420	一般財源	420

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
8. 消防・防災体制と国民保護	施 策	(P61) ④防災訓練等の実施	実施期間		H18～ 継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	訓練参加機関の防災マニュアル等の検証を行うとともに、「自助・共助」の精神の育成を図る。 また、災害に対する備えをするとともに、村民の防災意識の向上を図る。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部の運用の習得 ・防災行政無線機による情報伝達の習得 ・避難所設置及び運営の習得 ・住民初期活動の習得
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	災害対策費
	<ul style="list-style-type: none"> ◇住民参加型の村防災訓練を行う。(10/2) ◇津波による浸水被害を想定し、うなばら荘をはじめとする浸水想定区域内の事業所等にも訓練に参加を願う。 ◇住民避難マニュアルの実効性の確認と訓練の実施。 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度 実績	消耗品費、委託料、負担金補助及び 交付金	206	国県支出金 一般財源	92 114
(平成28年度) 予算		—		
(平成29年度) 計画		—		
(平成30年度) 計画		—		

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
8. 消防・防災体制と国民保護	施 策	(P62) ⑤消防団等防火体制の充実	実施期間		H18～ 継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	防災体制の充実と整備、消防団の育成を図る。	到達 目標	消防団員の充実と資機材の充実を図る。

事業内容 (具体的 な 施策)	事業名	非常備消防費
	<ul style="list-style-type: none"> ◇消防団員の確保(広報、ホームページによる募集) ◇操法訓練の実施 ◇火災予防週間における啓発活動 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	報酬・費用弁償等	7,905		
(平成28年度)	予算	報酬・費用弁償等	8,848	一般財源	8,848
(平成29年度)	計画	報酬・費用弁償等	6,640	一般財源	6,640
(平成30年度)	計画	報酬・費用弁償等	6,640	一般財源	6,640

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
8. 消防・防災体制と国民保護	施 策	(P62) ⑥消火栓及び関係器具の充実	実施期間	H18～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	火災時の住民による初期消火や消防団及び西部広域消防局による消火活動が円滑に行えるように、設備や器具の充実を図る。	到達目標	・老朽化した水道管の布設替え。
----	--	------	-----------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	非常備消防費
	◇水道管布設替えに伴い、立上り消火栓を地下式消火栓へ移行を行う。 ◇消火栓未設置エリアに、地下式消火栓を新設する。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績 負担金補助及び交付金	2,034	国県支出金	1,129
			一般財源	905
(平成28年度)	予算 負担金補助及び交付金	4,700	国県支出金	400
			一般財源	4,300
(平成29年度)	計画 負担金補助及び交付金	500	国県支出金	400
			一般財源	100
(平成30年度)	計画 負担金補助及び交付金	500	国県支出金	400
			一般財源	100

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
8. 消防・防災体制と国民保護	施策 (P62) ⑦国民保護法に基づく村民の安全対策		実施期間	H18～ 継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> 国の計画見直しに伴い、日吉津村国民保護計画の見直しを行う。 テロや有事が発生した場合に、日吉津村にいる全ての人を保護するために作成された、日吉津村国民保護計画の周知を行う。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 国の見直しに合わせて、国民保護計画を見直し、修正を行う。 国民保護計画について、村民へ分かりやすく広報等により啓発を行う。
----	---	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	国民保護計画策定事業
	<ul style="list-style-type: none"> ◇日吉津村国民保護協議会により、国民保護計画の見直しを行う。 ◇国民保護計画に基づき、体制の整備を行う。 ◇広報等により、国民保護について住民への啓発活動を行う。 	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	—		
(平成28年度)	予算	—		
(平成29年度)	計画 報酬	36	一般財源	36
(平成30年度)	計画	—		

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
9. 交通安全対策	施 策	(P61) ①主要道路における交通安全施設 の点検整備				

平成28年度実施計画

目的	交通事故から村民を守るため、道路等の交通安全施設を整備し、事故に遭わないようにする。	到達目標	・安全対策の強化(施設整備、表示等設置により死亡事故ゼロを延長する)

事業内容 (具体的な施策)	事業名	交通安全施設整備管理事業
		◇村内の主要道路、交差点付近など特に通学路を中心に交通安全施設の整備・点検の実施(行政) ・役場を中心に交通安全協会と連携をとり実施。 ・駐在所や住民の意見を聞き、効果的に交通安全施設(カーブミラー等)を設置・修繕する。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 需用費	171	一般財源 171
(平成28年度)	予算 需用費	100	一般財源 100
(平成29年度)	計画 需用費	100	一般財源 100
(平成30年度)	計画 需用費	100	一般財源 100

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう		実施主体	（ ）村直営 （○）団体 （○）その他		
9. 交通安全対策	施策 (P61) ②交通弱者に対する交通安全教育の推進		実施期間	継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	交通安全教育を通じてひとりでも多くの村民の交通安全意識を高め、事故を減少させる。	到達目標	・高齢者ドライバー及び歩行者への安全啓発 ・児童生徒の通学の安全啓発 ・チャイルドシートの着用の徹底
----	--	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	交通安全活動推進事業
	◇交通安全協会を中心に関係各機関と連携を取りながら、村民の交通安全意識を高める。 ◇関係機関とともに通学路の点検・改善方法の検討・実施。 ・朝の通園・通学時の街頭指導 ・各年代に応じた交通安全教室を実施 ・交通弱者に対する交通安全啓発の強化	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	-	
(平成28年度)	予算	-	
(平成29年度)	計画	-	
(平成30年度)	計画	-	

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう		実施主体	（ ）村直営 （○）団体 （○）その他		
9. 交通安全対策	施 策 (P63) ③交通安全活動の積極的な推進		実施期間	継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	年4回(春、夏、秋、年末)の交通安全運動を積極的に推進することにより、村民がより一層交通安全に関心を持ってもらえるようにする。	到達目標	・村民全体の交通安全意識の向上。 ・交通安全指導員・交通安全協会・PTA保護者会などとの連携による交通安全運動の展開。 ・自転車利用のマナーの向上。 ・第10次日吉津村交通安全計画の策定
----	---	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	交通安全活動推進事業
	◇村民の交通安全意識を高める ・年4回の交通安全運動での街頭広報・街頭指導・防災無線・3チャンネルによる広報等を行う ・保育所通所者への啓発 ・中高生の自転車街頭指導 ・アスパル等における一般啓発活動 ・交通安全計画の見直し、第10次日吉津村交通安全計画の策定を行う。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績	報酬・需用費・備品購入等	926	手数料 13 一般財源 913
(平成28年度) 予算	報酬・需用費等	842	一般財源 842
(平成29年度) 計画	報酬・需用費等	842	一般財源 842
(平成30年度) 計画	報酬・需用費等	842	一般財源 842

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体		(○)村直営 ()団体 ()その他	
10. 安全・安心の村づくり	施 策	(P64) ①防犯ネットワークづくりの推進	実施期間	H18~ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	役場、駐在所、各機関・団体などがそれぞれの立場で連携しあいながら、危険情報の共有化やネットワーク化を図る。また、要望箇所に看板を設置することで、犯罪の抑止を図る。	到達目標	・関係機関との危険情報の共有化。 ・要望箇所に看板を設置。

事業内容 (具体的な施策)	事業名	防犯対策事業
	◇警察から委嘱されている団体等との連携や危険情報の共有化を図る。 ・日吉津駐在所連絡協議会 ・小・中学校PTA ・青少年育成団体 ・米子地区防犯協議会 ◇防犯看板を作成し、要望箇所に設置し、犯罪を抑止する。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	実績	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	備品購入費、米子地区防犯協議会負担金	84	一般財源 84
(平成28年度)	予算	備品購入費、米子地区防犯協議会負担金	96	一般財源 96
(平成29年度)	計画	備品購入費、米子地区防犯協議会負担金	96	一般財源 96
(平成30年度)	計画	備品購入費、米子地区防犯協議会負担金	96	一般財源 96

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 (○)その他		
10. 安全・安心のむらづくり	施策	(P64) ②防犯意識の高揚と防犯活動の促進	実施期間	H18～ 継続	団体等	防犯関係団体等

平成28年度実施計画

目的	防犯意識の高揚を図り、地域ぐるみの暴力追放や青少年非行防止活動を促進する。	到達目標	各種防犯活動の推進。

事業内容 (具体的な施策)	事業名	防犯対策事業
		◇防犯意識の高揚を図り、地域ぐるみの暴力追放や各種防犯活動を促進する。 ・米子警察署管内における、振り込め詐欺等の被害情報の広報・防災無線による周知。 ・大型商業施設における、防犯街頭キャンペーンへの参加。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度 実績		—	IV-30に計上
(平成28年度) 予算		—	IV-30に計上
(平成29年度) 計画		—	IV-30に計上
(平成30年度) 計画		—	IV-30に計上

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 (○)その他		
10. 安全・安心のむらづくり	施策	(P64) ③安心・安全のコミュニティづくりの推進	実施期間	H18～ 継続	団体等	各自治会

平成28年度実施計画

目的	一人ひとりが地域の課題に関心を持ち、それぞれが何らかの役割を果たしながら、地域の安全を守る取組を進め、暖かな関係や地域づくりを推進する。	到達目標	・安全・安心な地域社会の実現。

事業内容 (具体的な施策)	事業名	生活安全活動推進事業
	◇日吉津村生活安全条例の理念を実現する事業及び住民がそれぞれの責務を認識し、役割を分担しながら、共に安全で安心な地域社会の実現を目指す。 ・意識づくり、組織づくり、運動づくりに取組む。 ・消費生活相談の充実と特殊詐欺等の対策・村民への情報提供。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	需用費、委託料、備品購入費	245	県支出金 133 一般財源 112
(平成28年度)	予算	需用費、委託料	205	県支出金 89 一般財源 116
(平成29年度)	計画	需用費、委託料	205	県支出金 89 一般財源 116
(平成30年度)	計画	需用費、委託料	205	県支出金 89 一般財源 116

その他意見等

--

第4章 自然を守り住みよい郷土をつくろう			実施主体	(○)村直営 ()団体 (○)その他		
10. 安全・安心のむらづくり	施 策	(P64) ④防犯灯等の整備	実施期間	継続	団体等	各自治会

平成28年度実施計画

目的	防犯灯を整備することにより、夜間の犯罪の発生を抑止する。	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の設置及び維持管理。 消費電力の多い水銀灯をLED化することにより、省エネ・長寿命化を図る。
----	------------------------------	------	--

事業内容 (具体的な施策)	事業名	防犯対策事業
	◇防犯灯の設置及び維持管理 ・自治会要望箇所への新設。 ・水銀灯のLED化工事(10ヵ年計画) ・故障箇所の修繕。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	需用費、工事請負費	3,393	繰入金(夢育む村づくり基金) 1,100 一般財源 2,293
(平成28年度)	予算	需用費、工事請負費	3,524	繰入金(夢育む村づくり基金) 1,100 一般財源 2,424
(平成29年度)	計画	需用費、工事請負費	3,524	繰入金(夢育む村づくり基金) 1,100 一般財源 2,424
(平成30年度)	計画	需用費、工事請負費	3,524	繰入金(夢育む村づくり基金) 1,100 一般財源 2,424

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 (○)その他		
1. 新しい地域創造・コミュニティづくり	施 策	(P66) ①コミュニティ計画づくりの推進	実施期間	H16～ 継続	団体等	各地区の推進組 織と連携

平成28年度実施計画

目的	一人でも多くの村民が、地域コミュニティに関心を持ち、自ら地域の将来を考える取り組みとして、自治会等それぞれの「コミュニティ計画」づくりを推進する。	到達目標	・既存の活動を見直し、または新たな活動を始める自治会・自治会以外の組織ごとのコミュニティづくりを支援する。 ・地域の継続事業の推進を図り、自治会内の協力体制が根付く活動を支援する。
----	---	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	地域政策事業
	(地域政策事業) ◇コミュニティ推進のための講演会、学習会等の開催。 ◇コミュニティづくりに関わりの深い地域ごとの防災意識の啓発や防災に係る活動の推進。 ◇各地域のコミュニティ推進に係る継続事業(同一事業3カ年以内継続可能)及び新規事業に関して活動支援のため補助する。 ・各地域から継続事業・新規事業とも各年度1回申請が可能。 ・自治会に限らず、地域で独自にコミュニティづくりに係る活動を行っている団体からも申請可能として、広くコミュニティづくりの推進を図る。 (継続事業) 補助率1/2 上限補助額 50,000円 (新規事業) 補助率10/10 上限補助額 50,000円	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報償費、費用弁償、補助金	286	一般財源 286
(平成28年度)	予算	報償費、費用弁償、補助金	520	一般財源 520
(平成29年度)	計画	報償費、費用弁償、補助金	520	一般財源 520
(平成30年度)	計画	報償費、費用弁償、補助金	520	一般財源 520

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう			実施主体	()村直営 (○)団体 (○)その他		
1. 新しい地域創造・コミュニティづくり	施策	(P66) ②自治会公民館の有効活用	実施期間	H16～ 継続	団体等	各自治会

平成28年度実施計画

目的	老朽化する自治会公民館を早期修繕することで、施設の長寿命化や活用の活性化を図り、自治会公民館活動を助長する。	到達目標	・誰もが安心して活用できる、自治会公民館の維持。
----	--	------	--------------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	一般管理費臨時
	◇自治会活動支援補助金 ・補助対象経費 村補助金で建設・設置した自治会公民館及び附属施設の修繕に係る経費。 ・補助基準 事業費30万円以上のものに対し、必要経費の2分の1以下(ただし、1件につき30万円を限度とする。)	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	負担金補助及び交付金	300	一般財源 300
(平成28年度)	予算	負担金補助及び交付金	300	一般財源 300
(平成29年度)	計画	負担金補助及び交付金	300	一般財源 300
(平成30年度)	計画	負担金補助及び交付金	300	一般財源 300

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他	
2. 地域特性を活かした活性化	施 策	(P70) ①国道431号沿道を中心とした活性化	実施期間	H18～ 継続
			団体等	

平成28年度実施計画

目的	県西部の玄関口という恵まれた位置環境を活かし、国道431号沿道を中心とした活性化を図る。	到達目標	・国道431号沿道は、土地利用計画で商業区域として位置付けられており、本計画に基づき、沿道の活性化を図る。
----	--	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	◇地区計画の推進 ◇国道431号沿道及び周辺のまちづくりの検討 ◇集落地域整備法の規定する集落地域の変更(イオン駐車場増設全体計画区域)	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績		—	
(平成28年度)	予算		—	
(平成29年度)	計画		—	
(平成30年度)	計画		—	

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう		実施主体	()村直営 (○)団体 ()その他		
2. 地域特性を活かした活性化	施策	(P70) ②村内外に発信する活性化イベント	実施期間	H19～ 継続	団体等 主催団体

平成28年度実施計画

目的	水辺の楽校や海浜運動公園などを中心にイベントなど交流の場を設け、村内外からの参加者を得て地域の活性化を図る。	到達目標	イベント開催及び新規イベントに向けた、村内外各実行団体等との協議
----	--	------	----------------------------------

事業内容	事業名	
	(具体的な施策)	◇イベントの開催 水辺の楽校や海浜運動公園等で行われる各種団体によるイベントを支援する。 ◇村内施設のPR 村内各施設について、パンフレットの配布等を通して村外へPRし、利用促進を図る。 ◇自治会への働きかけ 各自治会へ村内施設を利用してのイベント企画を呼びかけ、コミュニティづくりの促進につなげる。

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績		—	
(平成28年度)	予算		—	
(平成29年度)	計画		—	
(平成30年度)	計画		—	

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう		実施主体	()村直営 (○)団体 ()その他			
3. 国際理解・交流と国内地域間交流	施 策	(P71) ①国際交流協会等への支援と国際理解の推進	実施期間	H元～継続	団体等	日吉津村国際交流協会
1) 国際理解・交流						

平成28年度実施計画

目的	村民の国際理解が進むよう、国際交流協会を中心に、各種・各層の交流事業を実施する。	到達目標	・国際交流協会の活動を支援し、村民の国際理解を推進する。
----	--	------	------------------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	国際交流事業
	◇村国際交流協会(会員26名)を中心に各種事業へ取組む。 ・国際交流員等の講師を招いて各国の国際理解の講座や交流事業を開催する。 ◇ふれあいフェスタにおいて、活動等の紹介を展示する。 ◇ハローほうき国際交流フェスティバルに参加する。 ◇モンゴル中央県親善協会の事業で、モンゴルの子どもたちが村内の家庭へホームステイしながら村民と交流したり、村の児童と一緒に広島へ平和学習に行く。協会から補助を行い、交流を推進・支援する。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績 補助金	50	一般財源 50
(平成28年度)	予算 補助金	40	一般財源 40
(平成29年度)	計画 補助金	40	一般財源 40
(平成30年度)	計画 補助金	40	一般財源 40

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
3. 国際理解・交流と国内地域間交流 2) 国内地域間交流	施 策	(P71)	実施期間	継続	団体等	
		①交流連携による地域力の向上				

平成28年度実施計画

目的	交流人口の増加などを踏まえ、住民自治の先進地との連携や民間地域間交流の推進を図る。	到達目標	・先進地との交流、連携により、地域力の向上を図る。
----	---	------	---------------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	・地域の可能性を高め、振興を図るため、先進的な市町村との交流活動を推進する。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績		—	
(平成28年度)	予算		—	
(平成29年度)	計画		—	
(平成30年度)	計画		—	

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう			実施主体	(○)村直営 (○)団体 ()その他		
4. 地域情報化と電子自治体の推進	施策	(P71) ①ケーブルテレビによる情報提供	実施期間	H14～ 継続	団体等	株中海テレビ放送

平成28年度実施計画

目的	<p>情報化社会への対応を目指し、ケーブルテレビの村専用チャンネルによる村議会中継や自主制作放送等の番組を発信する。</p>	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・村の施策などを村民に分かりやすく紹介する。 ・質の高い番組づくりに努め、視聴者の増加を図る。 ・村民に親しまれる放送、参加できる番組づくりに努める。 ・村民の活動を積極的に紹介し、村づくりに対する協働の推進につなげる。 ・日吉津の魅力をPRし、定住のきっかけづくりに努める。
----	--	------	--

事業名	ひえづチャンネル運営事業		
事業内容 (具体的な施策)	<p>◇日吉津113チャンネルにて、映像放送及び文字放送の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村民のボランティア活動の紹介、地域の話、イベント情報、保育所・小学校での様子、行政情報等をわかりやすく放送する。 ・定住につながる各種行政施策、日吉津の魅力をPRする。 <p>◇番組を繰り返し放送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に30分の番組を作成し、毎週日曜日から土曜日までの1週間繰り返し放送する <p>◇議会中継を中海テレビ放送に一部委託し、職員との2人体制で行う</p> <p>◇年4回の定例会のうち6月、9月、12月議会は「開会・一般質問・議案質疑」を中継する。3月議会は「討論・採決」を加えた4日間を中継する。それに併せて議会中継の再放送(午後7時～)を「開会・議案質疑・討論採決」は3日間、「一般質問」は前半・後半に分けて2日間行う。</p>		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度	支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績 委託料・負担金	7,718	一般財源 5,086	諸収入 2,632
(平成28年度)	予算 委託料・負担金	7,718	一般財源 5,086	諸収入 2,632
(平成29年度)	計画 委託料・負担金	7,718	一般財源 5,086	諸収入 2,632
(平成30年度)	計画 委託料・負担金	7,718	一般財源 5,086	諸収入 2,632

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
4. 地域情報化と電子自治体の推進	施策	(P72) ②電子自治体への体制づくり	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	ユビキタス社会(情報通信技術の普及した社会)に向けての情報基盤整備に努める。	到達目標	電子自治体体制への基盤整備を行う。
----	--	------	-------------------

事業内容 (具体的な施策)	事業名	一般管理費経常
	◇電子自治体への体制づくりのため、システムの検討をするとともに基盤整備を図る。 ・社会保障・税番号制度に伴う、住基システム等の総合運用テストの実施。 ・低所得の高齢者向け給付金給付事業システム、低所得の障害遺族年金者向け給付金給付事業システム、生活保護システムの改修及び業務効率化事業を行い、行政事務の効率化を図る。	

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	委託料	97,575	国県支出金 一般財源	20,156 77,419
(平成28年度)	予算	委託料	42,101	国県支出金 一般財源	3,735 38,366
(平成29年度)	計画	委託料	38,366	一般財源	38,366
(平成30年度)	計画	委託料	38,366	一般財源	38,366

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
4. 地域情報化と電子自治体の推進	施策	(P72) ③個人情報の保護	実施期間	継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	情報セキュリティの強化に努める。	到達目標	情報漏洩の防止。
事業内容 (具体的な施策)	事業名	一般管理費経常	
	◇(特定)個人情報の順守、周知徹底のため職員の研修を行う。		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)	
平成27年度	実績	使用料	2,552	一般財源	2,522
(平成28年度)	予算	使用料	1,022	一般財源	1,022
(平成29年度)	計画	使用料	1,033	一般財源	1,033
(平成30年度)	計画	使用料	1,022	一般財源	1,022

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう		実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
5. 日吉津村自治基本条例の推進	施 策	(P72) ①自治基本条例推進委員会による推進	実施期間	継続	団体等

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> 自治基本条例の各条文についての進捗状況を管理し、行政、議会、村民への提言等を行いながら、条例の推進を図る。 	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 条例の実効性を高め、参画と協働の円滑な推進と村民の自治の発展を図る。
----	---	------	--

事業内容	事業名	自治基本条例推進事業		
	(具体的な施策)	<ul style="list-style-type: none"> ◇推進委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・委員12名、任期2年(平成27年4月～平成29年3月) ・年4回開催 平成28年度事業計画の検討 提言(議会、村民に対して)の検討 小学校6年生対象に条例の説明 自治基本条例の進捗状況のチェック ◇職員プロジェクト委員会を開催し、職員に対しても引き続き条例の推進を図る。 ◇自治基本条例のPR <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、ひえづチャンネル、ホームページなどを活用し、引き続き住民への周知を図る。 		

実績額と予算額等(支出の積算内訳・財源内訳:千円)

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績	報酬	72	一般財源 72
(平成28年度)	予算	報酬	144	一般財源 144
(平成29年度)	計画	報酬	144	一般財源 144
(平成30年度)	計画	報酬	144	一般財源 144

その他意見等

--

第5章 進んで学び明日の文化を築こう			実施主体	(○)村直営 ()団体 ()その他		
5. 日吉津村自治基本条例の推進	施策	(P72) ②住民投票条例の制定	実施期間	H19～ 継続	団体等	

平成28年度実施計画

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・村行政に関する重要な事項について、住民の意見を直接問う住民投票を実施することができるように、常設型の住民投票条例を制定する。 	到達目標	<p>平成24年6月1日から日吉津村住民投票条例を施行している。 あわせて同年6月1日から日吉津村住民投票条例施行規則を施行している。</p>
----	---	------	---

事業内容 (具体的な施策)	事業名	
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民投票条例及び住民投票条例施行規則をホームページにて公表している。 ・広報誌、ホームページ、ひえづチャンネル等を活用し、村民に周知し、情報提供に努める。 	

年度		支出の積算内訳	予算額	財源内訳(特財等)
平成27年度	実績		—	
(平成28年度)	予算		—	
(平成29年度)	計画		—	
(平成30年度)	計画		—	

その他意見等

--